

## 第2節 因（カクダイ）佐賀家の留萌での鯨漁場の経営

### 佐賀家のこと

佐賀家の先祖は豊臣氏の遺臣で九州佐賀の武士であったという。大阪城落城の際これら遺臣は何人かが下北に逃れてきたが、その一人であったという（註1）。出身が佐賀の根津谷村であったことから代々屋号を根津屋と称し、南部田名部五千石北通の内下風呂村、現在の青森県下北郡風間浦村下風呂で漁業海運業を営んできた。また、下風呂での商号は代々⊗（マルニイゲタ）を使用している。下北半島移住後の初代は平兵衛で寛永4年生まれだという。当主は代々「平」または「清」の字を名前に入れるのが慣例であった。元禄元年の「下風呂村薬師如来記」に里長佐賀氏の名前が見えることから当時既に村の重鎮であったことが推察される（註2）。

佐賀氏がいつごろから蝦夷地と関係をもったかは明かではない。地理的な条件から商業、海運業を営むことによって代々蝦夷地との関係を深めていったのは間違いないであろう。文化5年（1808）五代平之丞の頃蝦夷地との往来があったことは次によって知られる（註3）。

一筆啓上仕候、然者御百姓共爲渡世之松前へ働に罷越度由願出候者共、左之通に御座候

|      |    |
|------|----|
| 下風呂村 | 誰  |
| 下風呂村 | 誰  |
|      | 何人 |

右之通に御座候間吟味此候處相違無御座候、御慈悲を以渡海切手被下置度奉願上候、尤秋中此方へ渡海次第御訴申上度奉存候、以上

文化五年 月 日

下風呂村肝煎 仁兵衛

御下役御兩人様宛

これは松前出稼のための渡海切手の申請をした文書である。当時下北半島の漁民はほとんどが松前へ出稼をしていた。松前出稼の場合はその都度代官所へ願いで許可を貰い渡海切手を発行してもらう必要があった。

下風呂の佐賀家と易国間の広谷家が文化5年当時松前に鯨漁場を経営したことになるが、どこで経営したのかは不明である（註4）。天保8年の10月には幾度かの南部藩への献金などの功績により問屋株を貰い、南部藩御用達になっており（註5）、天保4年には天当船「灘壺丸」で松前、箱館、新潟等を往復して商売をしている（註6）。

### 鯨漁場の経営へ

はっきりと佐賀家が蝦夷地での鯨漁場の経営に乗りだしたのは七代清右衛門の時である。天保年間清右衛門が蝦夷地福山に行き、蝦夷地鯨漁の有望なことを知り、弘化元年八代平之丞をルゝモッペ場所の礼受に赴かせ鯨漁場を開かせた（註7）。当時のルゝモッペ場所は栖原角兵衛の請負場所であったが、天保11年にハママシケ（浜益）以北の追鯨が解禁され、鯨漁場としては処女地であっ

た。但し、当時蝦夷地で漁業を営むためには松前に人別がないものには許可されなかった。そこで、松前唐津内澤町の田中藤左衛門の名義を借りて漁業に着手した。田中藤左衛門の屋号は因（カクダイ）印を使用していたため、そのまま蝦夷地の屋号を因（カクダイ）と称し、現在まで使用している（註8）。

弘化4年の下風呂村越年人別帳にはルゝモッペに6人の越年者6人あり、その中に佐賀家使用人として仁吉の名前があり、佐賀家がルゝモッペに漁場の管理のために越年者を置いていたことがわかる（註9）。また、嘉永2年の下風呂村面附帳（註10）には

一 平之丞 右者船問屋并鰯網商売松前返天当船木綿瀬戸物阿ら物塩清酒引酒草りわらじ商内渡世  
罷在候

とあり、雑貨荒物商売の他、海運業、鰯網漁業を兼ねて経営していた。この他に蝦夷地での鯨漁が加わったのである。

嘉永4年七代清右衛門が亡くなると、八代平之丞は帰国し、実弟佐賀庄四郎に漁場の監理を託した。安政元年にはルゝモッペ出稼3軒で人数男85人とあり、その鯨漁獲高は1,700石あり、1軒につき566石内外の漁獲量となる。そしてこれら出稼人は春鯨漁期間中のみの出稼であり、鮭漁の時期には本村に引き上げた（註11）。翌年の出稼はやはり3軒で115人。内訳は唐津内澤町藤左衛門外雇36人、唐津内町五三郎雇船船頭久蔵外33人、泊川村久右衛門外雇46人であった。安政4年には出稼人13軒、同5年16軒と増加した。佐賀漁場所有の鯨釜の数は員数調べによると、安政5年、6年とも26枚で出稼人の中で一番多く、運上屋分の56枚の半分の鯨釜を所有していたことになる（註12）。この時点でルゝモッペにおける漁業者の中で請負人の栖原に次ぐ漁業者になっていたのである。また、文久2年のルゝモッペ越年者調べでは唐津内澤町藤左衛門鮭場は14人の越年者を置いている。翌年の建網策網員数調べによると唐津内澤町藤左衛門は建網（行成網）5統、策網2統計7統を経営し、やはり出稼の漁業者の中では傑出した存在であった（註13）。建網の建場はフレッシュマナイ2統、ヨン子ナイ1統、ヤムワッカナイ1統、ウシヤ1統で現在の礼受地区3統、瀬越1統、臼谷1統である。フレッシュマナイは後の因（カクダイ）佐賀漁場の元場と言われるところである。

#### 佐賀家の鯨定置網

この後明治20年までどのような経過で鯨漁を経営していたかを確実に知りうる資料は存在しない。明治10年開拓使による新規漁業が開始された時点で、漁場借り受け者は礼受31統、留萌30統、三泊51統、計112統の漁場が開設された（註14）。佐賀家の漁場経営数は明治24年の礼受村漁場台帳によると明治以前に許可された漁場として5統が記されており、留萌、臼谷の漁場を含めると7から8統の漁場を明治初年から20年代始めまで経営していたことがわかる。

明治20年には佐賀家建網として

鯨建網 佐賀庄四郎名義2統、佐賀庄五郎名義1統、佐賀福治名義1統

鮭建網 佐賀庄四郎名義2統

鱒建網 佐賀庄四郎名義2統

の計8統の建網を経営していた。名義が分散しているのは当時建網の許可は北海道に戸籍を有するものに限られていたためである。このころは鯨だけでなく、鮭、鱒も漁獲の対象であったのであろう（註15）。

明治26年7月24日八代佐賀平之丞が亡くなり、孫の10代清太郎が佐賀家を継いだ。この時相統し

た建網場は次のとおりである。

- 東第10号明治以前許可
- 東第11号明治以前許可
- 東第15号明治以前許可
- 東第16号明治21年12月28日許可
- 東第17号明治以前許可
- 東第18号明治21年12月28日許可
- 東第19号明治以前許可
- 東第124号明治24年10月10日許可
- 東第125号明治24年10月10日許可
- 東第15号の1 明治26年 4月29日許可
- 東第79号明治以前許可
- 東第80号明治23年 5月26日許可

総計12統の漁場を相続した。その年の佐賀漁場の鯨製品の生産高は次の通りである。

|     |               |               |
|-----|---------------|---------------|
| 絞め粕 | 2, 131. 48 石  | 15, 462. 426円 |
| 笹目  | 27本 (3. 24石)  | 72. 67 円      |
| 胴練  | 744束 (37. 2石) | 200. 88 円     |
| 白子  | 18本 (11. 04石) | 63. 383円      |
| 数の子 | 16本 (9. 6石)   | 60. 458円      |
| 身欠  |               | 68. 300円      |
| 魚油  | 206個          | 185. 400円     |

金額で16, 113円51銭7厘の収入を得ている。

このころ留萌因(カクダイ)の支配人として長い間勤めてきた佐賀庄四郎が引退し、第10代清太郎の弟佐賀徳治が因(カクダイ)の支配人として留萌佐賀漁場を取仕切るようになった(註16)。

佐賀漁場での鯨角網の初めての使用願いを出し、3月23日1か年の期限付で東第16号1統が許可された。明治29年には3統の角網、明治31年には4統、明治34年には6統、明治36年7統と漸次角網を増加していった。

明治35年以降の佐賀家の鯨定置免許は次の通りである(註17)。

|        |     |           |       |                    |
|--------|-----|-----------|-------|--------------------|
| 留東定第2号 | 行成網 | 明治35年7月1日 | 佐賀徳治  |                    |
| 留東定第3号 | 行成網 | 明治35年7月1日 | 佐賀清太郎 | 大正4年12月<br>7日抹消登録  |
| 留東定第5号 | 行成網 | 明治35年7月1日 | 佐賀清太郎 |                    |
| 留東定第6号 | 行成網 | 明治35年7月1日 | 佐賀清太郎 |                    |
| 留東定第7号 | 行成網 | 明治35年7月1日 | 佐賀清太郎 | 大正6年10月<br>15日抹消登録 |
| 留東定第8号 | 行成網 | 明治35年7月1日 | 佐賀清太郎 | 大正6年10月<br>15日抹消登録 |
| 留東定第9号 | 行成網 | 明治35年7月1日 | 佐賀清太郎 | 大正6年10月<br>15日抹消登録 |

大正9年1月10日～大正11年5月31日

1 漁期2,150円50銭

大正11年4月9日3月22日解約により同設定の登録を抹消

昭和2年3月9日伊勢田仁太郎と賃借権の設定を登録

昭和2年2月28日～昭和4年6月10日

1 漁期550円

昭和11年1月13日伊勢田仁太郎と賃借権の設定を登録

昭和10年11月1日～昭和12年6月10日

1 漁期500円

昭和14年12月23日存続期間20か年更新

昭和18年9月11日 佐賀伊四郎相続

昭和26年9月1日抹消登録

留東定第433号 角網

大正8年12月23日 佐賀清太郎

大正9年1月27日漁業権無償譲渡により留萌郡留萌町漁業権取得

大正13年12月22日漁業期間変更

昭和22年8月12日

売買契約により白鳥晃一漁業権取得

留東定第458号 角網

昭和2年4月18日 佐賀清太郎

昭和18年9月11日 佐賀伊四郎相続

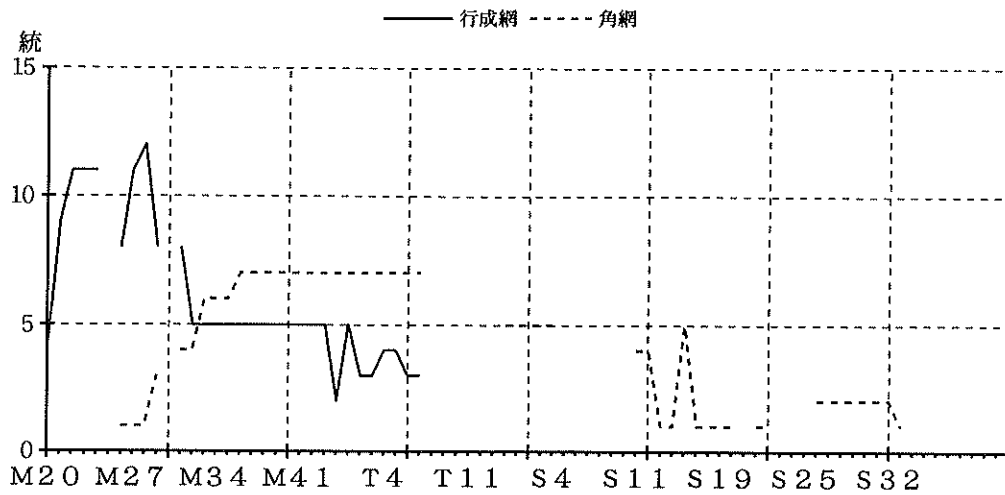
昭和22年5月19日存続期間5か年更新

昭和26年9月1日抹消登録

これによると明治35年免許の権利が10統ですべて行成網、大正6年免許が9統で1統が行成網、残りは角網になっている。免許期間が20か年であることから明治35年の免許はほとんど大正6年に継続したものと考えることができる。明治35年の免許がすべて行成網になっているが、前に述べたとおり実際には角網変更願いがその都度出され、許可されていることから、免許書替の時点ではほとんどが角網に変更されていたと考えて良い。昭和26年9月1日の抹消登録が6統あるが、これは戦後新漁業法による旧免許の廃止によるものであり、最終的には旧制度による世襲的漁業権は6統が存続した。新漁業法の施行により、これらは旧権利は旧所有者へ補償され、国家の帰属に帰した。この時点で漁業から離れていった業者もいたが、佐賀家では11代佐賀伊四郎および佐賀清志名儀で2統の罾定置網の申請を行い、留にしん定第9号および第10号の漁業権を確保し、罾定置漁業を続けた。この免許が昭和33年罾漁終了までの佐賀家建網となるのである。

これら漁業権を有していたからといっても、すべて毎年この権利場所に漁場を開設したということではない。不漁期には休業、廃業、賃貸などで直営しないこともあった。表7の及び図11の明治20年からの着業数をみると、明治28年の13統を最高に、大正7年までは9から10統着業数を保ってきた。しかし、それ以降は着業数が減りつづけているのがわかる。また、行成網と角網の構成をみると明治26年から角網が導入されて以降、行成網は減りつづけて、大正14年以降はすべて角網だけの着業となっている。角網は明治36年に7統が着業すると15年間着業統数が変わらず、行成網は補助的な網へと役割が変化したと考えられる。本当は行成網の漁場でも角網へ転換したかっただけであろうが、隣接建網場との関係（註18）や罾資源量減少による漁獲量の減少が更なる行成網から角網への転換をはばんだのかも知れない。

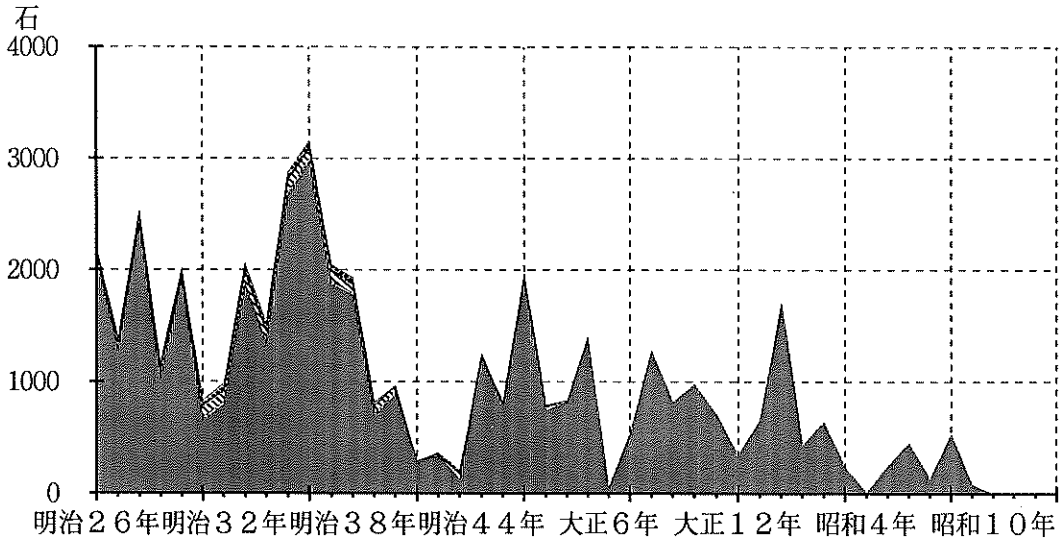
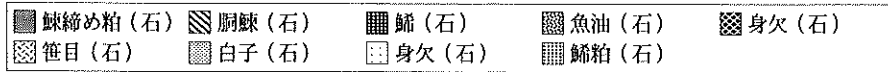
|          |     |   |                                  |                    |
|----------|-----|---|----------------------------------|--------------------|
| 留東定第10号  | 行成網 | 明治35年7月1日   | 佐賀清太郎                            | 大正6年10月<br>15日抹消登録 |
| 留東定第11号  | 行成網 | 明治35年7月1日   | 佐賀清太郎                            | 大正6年10月<br>15日抹消登録 |
| 留東定第12号  | 行成網 | 明治35年7月1日   | 佐賀清太郎                            | 大正6年10月<br>15日抹消登録 |
| 留東定第361号 | 角網  | 大正7年10月1日<br>昭和18年9月11日<br>昭和26年9月1日抹消登録                                    | 佐賀清太郎<br>佐賀伊四郎相続                 |                    |
| 留東定第362号 | 行成網 | 大正7年10月3日<br>大正8年10月24日<br>昭和2年10月5日  | 佐賀清太郎<br>区域の変更<br>漁業権の抛棄により漁業権消滅 |                    |
| 留東定第363号 | 行成網 | 大正7年10月3日<br>大正9年1月27日  | 佐賀清太郎<br>漁業権の抛棄により漁業権消滅          |                    |
| 留東定第366号 | 角網  | 大正7年10月3日<br>大正12年12月22日漁業期間変更<br>昭和13年10月3日<br>昭和18年9月11日<br>昭和26年9月1日抹消登録 | 佐賀清太郎<br>存続期間20か年更新<br>佐賀伊四郎相続   |                    |
| 留東定第367号 | 角網  | 大正7年10月3日<br>大正12年12月22日漁業期間変更<br>昭和13年10月3日<br>昭和18年9月11日<br>昭和26年9月1日抹消登録 | 佐賀清太郎<br>存続期間20か年更新<br>佐賀伊四郎相続   |                    |
| 留東定第368号 | 角網  | 大正7年10月3日<br>大正12年12月22日漁業期間変更<br>昭和2年4月12日漁業権抛棄により漁業権消滅                    | 佐賀清太郎                            |                    |
| 留東定第369号 | 角網  | 大正7年10月3日<br>大正12年12月22日漁業期間変更<br>昭和2年4月12日漁業権抛棄により漁業権消滅                    | 佐賀清太郎                            |                    |
| 留東定第370号 | 角網  | 大正7年10月3日<br>大正12年12月22日漁業期間変更<br>昭和13年10月3日<br>昭和18年9月11日<br>昭和26年9月1日抹消登録 | 佐賀清太郎<br>存続期間20か年更新<br>佐賀伊四郎相続   |                    |
| 留東定第385号 | 角網  | 大正7年10月3日<br>大正11年6月2日漁業法第22条に基づき漁業免許取消により漁業権消滅                             | 佐賀徳治                             |                    |
| 留東定第429号 | 角網  | 大正8年12月23日<br>大正9年3月10日伊藤熊吉と賃借権の設定を登録                                       | 佐賀清太郎                            |                    |



第11図 佐賀漁場定置網着業数 (明治20年~昭和33年)

表7 佐賀漁場鯨定置網着業数 (明治20年~昭和33年)

| 年   | 行成網 | 角網 | 計  | 貸漁場数 | 行成網 | 貸漁場数 | 角網 |
|-----|-----|----|----|------|-----|------|----|
| M20 | 4   |    | 4  |      |     |      |    |
| M21 | 9   |    | 9  |      |     |      |    |
| M22 | 11  |    | 11 |      |     |      |    |
| M23 | 11  |    | 11 |      |     |      |    |
| M24 | 11  |    | 11 |      |     |      |    |
| M25 |     |    |    |      |     |      |    |
| M26 | 8   | 1  | 9  |      |     |      |    |
| M27 | 11  | 1  | 12 |      |     |      |    |
| M28 | 12  | 1  | 13 |      |     |      |    |
| M29 | 8   | 3  | 11 |      |     |      |    |
| M30 |     |    |    |      |     |      |    |
| M31 | 8   | 4  | 12 |      |     |      |    |
| M32 | 5   | 4  | 9  |      |     |      |    |
| M33 | 5   | 6  | 11 |      |     |      |    |
| M34 | 5   | 6  | 11 |      |     |      |    |
| M35 | 5   | 6  | 11 |      |     |      |    |
| M36 | 5   | 7  | 12 |      |     |      |    |
| M37 | 5   | 7  | 12 |      |     |      |    |
| M38 | 5   | 7  | 12 |      | 1   |      |    |
| M39 | 5   | 7  | 12 |      | 2   |      |    |
| M40 | 5   | 7  | 12 |      |     |      | 1  |
| M41 | 5   | 7  | 12 |      |     |      |    |
| M42 | 5   | 7  | 12 |      |     |      |    |
| M43 | 5   | 7  | 12 |      |     |      |    |
| M44 | 2   | 7  | 9  |      |     |      |    |
| M45 | 5   | 7  | 9  |      |     |      |    |
| T2  | 3   | 7  | 10 |      |     |      |    |
| T3  | 3   | 7  | 10 |      |     |      |    |
| T4  | 4   | 7  | 11 |      |     |      |    |
| T5  | 4   | 7  | 11 |      |     |      |    |
| T6  | 3   | 7  | 10 |      |     |      |    |
| T7  | 3   | 7  | 10 |      |     |      |    |
| T8  |     |    |    |      |     |      |    |
| T9  |     |    |    |      |     |      |    |
| T10 |     |    |    |      |     |      | 1  |
| T11 |     |    |    |      |     |      | 1  |
| T12 | 1   | 6  | 7  |      |     |      | 2  |
| T13 |     |    |    |      |     |      |    |
| T14 |     | 5  | 5  |      |     |      |    |
| T15 |     | 5  | 5  |      |     |      |    |
| S2  |     | 5  | 5  |      |     |      | 2  |
| S3  |     | 5  | 5  |      |     |      | 1  |
| S4  |     | 5  | 5  |      |     |      | 1  |
| S5  |     |    |    |      |     |      |    |
| S6  |     |    |    |      |     |      |    |
| S7  |     |    |    |      |     |      |    |
| S8  |     |    |    |      |     |      |    |
| S9  |     | 5  | 5  |      |     |      | 4  |
| S10 |     |    |    |      |     |      |    |
| S11 |     | 4  | 4  |      |     |      | 3  |
| S12 |     | 4  | 4  |      |     |      | 3  |
| S13 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S14 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S15 |     | 5  | 5  |      |     |      | 4  |
| S16 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S17 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S18 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S19 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S20 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S21 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S22 |     |    |    |      |     |      |    |
| S23 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |
| S24 |     |    |    |      |     |      |    |
| S25 |     |    |    |      |     |      |    |
| S26 |     |    |    |      |     |      |    |
| S27 |     | 2  | 2  |      |     |      |    |
| S28 |     | 2  | 2  |      |     |      |    |
| S29 |     | 2  | 2  |      |     |      |    |
| S30 |     | 2  | 2  |      |     |      |    |
| S31 |     | 2  | 2  |      |     |      |    |
| S32 |     | 2  | 2  |      |     |      |    |
| S33 |     | 1  | 1  |      |     |      |    |



第12図 因佐賀漁場生産高(明治26年~昭和12年)

表8 佐賀漁場生産高(明治26年~昭和12年)

| 西暦   | 年     | 鯨縮め粕(石)     | 笹目(石)   | 鯛鯨(石)   | 白子(石)   | 鱈(石)    | 魚油(石)  | 鱈粕(石) | 身欠(石) | 総計        |
|------|-------|-------------|---------|---------|---------|---------|--------|-------|-------|-----------|
| 1893 | 明治26年 | 2131.48     | 3.24    | 37.2    | 11.04   | 9.6     | 1.03   |       |       | 2193.59   |
| 1894 | 明治27年 | 1285.7047   | 18.4    | 48.815  | 10.2452 | 3.23    | 0.755  |       | 31.6  | 1398.7499 |
| 1895 | 明治28年 | 2412.581    | 9.1     | 52.5    | 9.466   | 9.745   | 0.99   |       | 28    | 2522.382  |
| 1896 | 明治29年 | 1021.4996   | 20.11   | 62.1    | 11.84   | 12.1225 | 0.385  | 3.995 | 38.4  | 1170.4521 |
| 1897 | 明治30年 | 1916.045825 | 18.7225 | 10.07   | 15.26   | 12.73   | 1.3225 |       | 38    | 2012.1508 |
| 1898 | 明治31年 | 656.6095    | 22.8275 | 85.055  | 16.145  | 2.04    | 0.4025 |       | 46.4  | 829.4795  |
| 1899 | 明治32年 | 792.535     | 21.186  | 84.745  | 17.23   | 3.42    | 0.46   |       | 60.8  | 980.376   |
| 1900 | 明治33年 | 1865.3612   | 20.959  | 80.7    | 15.816  | 12.2136 | 1.9075 |       | 58.8  | 2055.7573 |
| 1901 | 明治34年 | 1336.6894   | 20.63   | 85.05   | 12.495  | 12.2136 | 2.135  |       | 50.8  | 1520.013  |
| 1902 | 明治35年 | 2671.108    | 24.8215 | 90.332  | 13.855  | 15.735  | 2.735  |       | 54.8  | 2873.3865 |
| 1903 | 明治36年 | 2976.397    | 20.355  | 78.9    | 9.415   | 15.77   | 2.8425 |       | 50    | 3153.6795 |
| 1904 | 明治37年 | 1871.9847   | 22.5425 | 77.35   | 14.485  | 16.8    | 2.635  |       | 40.8  | 2046.5972 |
| 1905 | 明治38年 | 1776.8273   | 19.9    | 68.693  | 9.97    | 11.13   | 1.9975 |       | 38.8  | 1927.3178 |
| 1906 | 明治39年 | 703.9948    | 17.835  | 56.162  | 8.47    | 7.725   | 1.1625 |       | 25.2  | 820.5493  |
| 1907 | 明治40年 | 891.936     | 18.115  | 44.031  | 12.07   |         | 0      |       | 0     | 966.152   |
| 1908 | 明治41年 | 291.492     |         |         |         |         | 0      |       | 0     | 291.492   |
| 1909 | 明治42年 | 334.2281    | 4.935   | 14.25   | 1.625   | 2.34    | 0.3375 |       | 7.6   | 365.3156  |
| 1910 | 明治43年 | 134.522     |         | 37.695  | 3.865   | 6       | 0.205  |       | 26    | 208.287   |
| 1911 | 明治44年 | 1230.3069   | 10.375  |         | 5.12    | 5.04    | 1.74   |       | 0     | 1252.5819 |
| 1912 | 明治45年 | 787.2005    | 3.935   | 12.55   | 2.225   | 2.795   | 0.855  |       | 11.2  | 820.7605  |
| 1913 | 大正2年  | 1916.1066   | 5.325   | 23.05   | 2.8825  | 3.225   | 1.835  |       | 17.2  | 1969.6241 |
| 1914 | 大正3年  | 742.27025   | 32.65   | 7.9     | 1.71    | 1.16    | 0.85   |       | 5.2   | 791.74025 |
| 1915 | 大正4年  | 817.03375   | 3.985   | 13.9125 | 1.575   |         |        |       |       | 836.50625 |
| 1916 | 大正5年  | 1398.453    |         |         |         |         |        |       |       | 1398.453  |
| 1917 | 大正6年  | 52.23       |         |         |         |         |        |       |       | 52.23     |
| 1918 | 大正7年  | 539.2108    |         |         |         |         |        |       |       | 539.2108  |
| 1919 | 大正8年  | 1275.9621   |         |         |         |         |        |       |       | 1275.9621 |
| 1920 | 大正9年  | 820.2       |         |         |         |         |        |       |       | 820.2     |
| 1921 | 大正10年 | 978.6       |         |         |         |         |        |       |       | 978.6     |
| 1922 | 大正11年 | 708.843     |         |         |         |         |        |       |       | 708.843   |
| 1923 | 大正12年 | 340.186     |         |         |         |         |        |       |       | 340.186   |
| 1924 | 大正13年 | 659.4       |         |         |         |         |        |       |       | 659.4     |
| 1925 | 大正14年 | 1702.81     |         |         |         |         |        |       |       | 1702.81   |
| 1926 | 大正15年 | 435         |         |         |         |         |        |       |       | 435       |
| 1927 | 昭和2年  | 643         |         |         |         |         |        |       |       | 643       |
| 1928 | 昭和3年  | 233.4       |         |         |         |         |        |       |       | 233.4     |
| 1929 | 昭和4年  | 14.8        |         |         |         |         |        |       |       | 14.8      |
| 1930 | 昭和5年  | 250         |         |         |         |         |        |       |       | 250       |
| 1931 | 昭和6年  | 450.6       |         |         |         |         |        |       |       | 450.6     |
| 1932 | 昭和7年  | 131.4       |         |         |         |         |        |       |       | 131.4     |
| 1933 | 昭和8年  | 529.8       | 14.4    | 12.4    | 4.8     | 19.2    | 0.5    | 5.4   | 181   | 787.5     |
| 1934 | 昭和9年  | 79.2        |         |         |         |         |        |       |       | 79.2      |
| 1935 | 昭和10年 | 0           |         |         |         |         |        |       |       | 0         |
| 1936 | 昭和11年 | 0           |         |         |         |         |        |       |       | 0         |
| 1937 | 昭和12年 |             |         |         |         |         |        |       |       | 0         |

## 佐賀家漁場の鯨製品の生産

佐賀家漁場の生産に関しては明治26年までは内容がまだ、はっきりしない。明治26年以降の生産高は残存する清算帳などから窺うことができる。

明治26年の生産高は

|     |              |             |
|-----|--------------|-------------|
| 絞め粕 | 2,131.48 石   | 15,462,426円 |
| 笹目  | 27本 (3.24石)  | 72.67 円     |
| 胴鯨  | 744束 (37.2石) | 200.88 円    |
| 白子  | 18本 (11.04石) | 63,383円     |
| 数の子 | 16本 (9.6石)   | 60,458円     |
| 身欠  | 【12石ぐらい?】    | 68,300円     |
| 魚油  | 206個 (1.03石) | 185,400円    |
| 計   | 2,205.59 石   | 16,003,517円 |

身欠の石数が不明であるが、明治27、8年の単価から計算すると、12石ほどになる。総生産高は約2,205石位になり、当時佐賀漁場の統数は12統であったから、1統につき180石程の収穫があったことになる。金額的には1万6000円台の収入を得ていることから1統あたり、1,333円の収入があった。

明治28年の佐賀漁場の生産高は次のとおりである

|     |                |             |
|-----|----------------|-------------|
| 絞め粕 | 2,412.581石     | 12,247,356円 |
| 笹目  | 9.1 石          | 89,770円     |
| 胴鯨  | 52.5 石 (1050本) | 304,500円    |
| 白子  | 9.466石         | 75,246円     |
| 数の子 | 9.745石 (21本)   | 77,492円     |
| 身欠  | 70本 (31.6石)    | 175,000円    |
| 魚油  | 198個 (0.99石)   | 198,000円    |
| 計   | 2,522.382石     | 13,167,364円 |

明治28年は13統が着業したことから、1統あたり194石、1,012円ほどの漁獲があった。

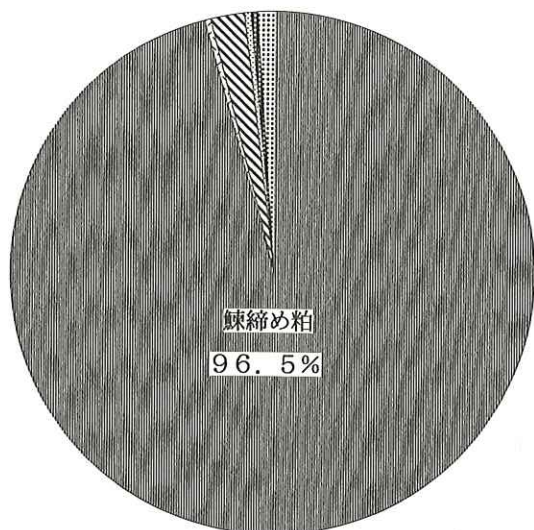
このころの製品の内訳は製品の96.5パーセントは鯨絞め粕でその他はわずかに3.5パーセントの比率にしかならない。明治26年から昭和初期までの佐賀漁場生産高（第8表、第12図）を見ると鯨収穫の平均90パーセント以上が鯨絞め粕である。昭和初期まで因（カクダイ）佐賀漁場の鯨加工品の主力は鯨粕にあったことがわかる。但し昭和年代に入ると鮮魚としての生売りが多くなる傾向にあり、戦後はほとんどが生売りであった。ただ、昭和に入ってから記録が不揃いなことからいつから生売りが主力になったのか明確ではない。昭和8年の生産高は次の通りである。

|    |        |       |
|----|--------|-------|
| 生鯨 | 181.0石 | 21.0% |
| 身欠 | 97.6石  | 11.3% |
| 胴鯨 | 12.4石  | 1.4%  |
| 白子 | 4.8石   | 0.5%  |
| 笹目 | 14.4石  | 1.7%  |
| 鯨  | 19.2石  | 2.2%  |
| 鱗  | 5.4石   | 0.6%  |

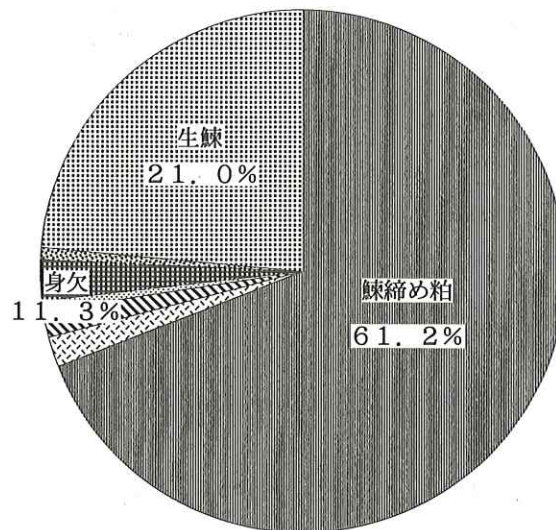


|    |        |        |
|----|--------|--------|
| 粕  | 529.8石 | 61.2%  |
| 魚油 | 0.5石   | 0.1%   |
| 計  | 865.1石 | 100.0% |

これを見ると明治から大正にかけて生売りがほとんどなかったが、昭和8年には21パーセントの比率に上昇しており、90パーセント近かった締め粕の比率が60パーセント台にまで落ちている。戦後になるとほとんどが生売りに変わる。昭和22年の佐賀漁場の生売り鯨は6,744箱で石に直すと337.2石。昭和23年が生鯨59,375石と骨付身欠が45貫、昭和23年は生鯨321.9石の生産であった。つまり、ほとんどが生売りの鮮魚としての出荷が占めていたものと考えられる。



第13図 明治28年佐賀漁場生産物比率



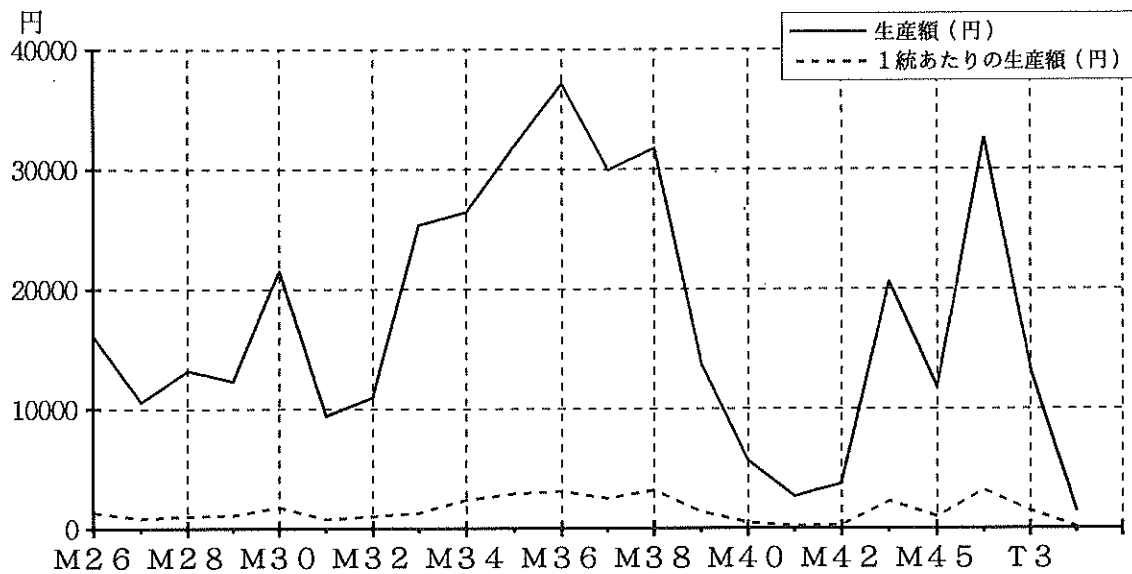
第14図 明治8年佐賀漁場生産物比率

次に明治26年から大正4年迄の生産高から見てみよう。生産高の総石数では第12図のように漁獲量の年変化が激しく変動していることがわかる。グラフの山形が年ごとに変化している。これは如何に鯨漁が不安定なものだったかを物語っている。最高は明治36年の3,156石でこれをピークに生産高は下降し始め、明治40、41年に最低になり、明治後半から大正初年にかけて盛り返したが長続きはせずすぐ不漁が続いたことがわかる。金額面では漁場全体では明治36年の37,100円を最高に生産高とほぼ同じ曲線で推移している。ただ、建網1統あたりの生産額では明治38年が最高で、1統あたり3,173円の生産をしている。明治26年から大正4年迄の年平均生産額は全漁場で17,355円。1統あたりの生産額の平均は1,536円となっており、やっと採算ベースにのっているといつてよいであろう。明治20年の建網1統継続に要する経費は角網で1,164円、行成網で746円であるから、物価値上がり分を考えても、鯨漁だけでは収益をあげることは困難なことになる。

最高の漁獲のあった明治36年の漁場関係だけの収支を見てみると、表10のようになる。支出で第1位は買物の部で、これは漁期中の食料、漁網等の原材料などが主なものであり、第2位が漁夫等の給料、第3位が税金、第4位が土木建築費である。この年は、鯨製品保管倉であるト夕倉の竣工があり、平年の経費以上の土木建築費の支出があった。また、手当は支配人、帳場等の手当である。各漁場の手当はいわゆる九一金と称された漁獲に応じた配分金のことで、各漁夫に支払われた。総支出は28,603円1銭5厘でその年の漁獲物の総売上37,100円71銭3厘から差し引くと、8,497円69銭8厘が純利益となる。

表9 一統あたりの生産高 (明治26年~大正4年)

|     | 生産額 (円) | 1 統あたりの生産額 (円) | 定置網統数 |
|-----|---------|----------------|-------|
| M26 | 16,113  | 1,342          | 12    |
| M27 | 10,568  | 880            | 12    |
| M28 | 13,167  | 1,012          | 13    |
| M29 | 12,282  | 1,116          | 11    |
| M30 | 21,488  | 1,790          | 12    |
| M31 | 9,418   | 784            | 12    |
| M32 | 10,991  | 999            | 11    |
| M33 | 25,334  | 1,303          | 11    |
| M34 | 26,425  | 2,402          | 11    |
| M35 | 31,978  | 2,907          | 11    |
| M36 | 37,100  | 3,091          | 12    |
| M37 | 29,909  | 2,492          | 12    |
| M38 | 31,736  | 3,173          | 10    |
| M39 | 13,731  | 1,373          | 10    |
| M40 | 5,674   | 472            | 12    |
| M41 | 2,642   | 220            | 12    |
| M42 | 3,776   | 314            | 12    |
| M43 | 20,564  | 2,284          | 9     |
| M45 | 11,716  | 976            | 12    |
| T2  | 32,546  | 3,254          | 10    |
| T3  | 13,230  | 1,470          | 9     |
| T4  | 1,413   | 128            | 11    |
| 平均  | 17,355  | 1,536          | 11    |



第15図 佐賀漁場全生産額及び1統あたりの生産額 (明治26年~大正4年)

表10 明治36年佐賀漁場の収支

明治36年漁場関係支出内訳

| 摘要      | 金額          |
|---------|-------------|
| 買い物の部   | 14,867.647円 |
| 税金      | 2,434.119円  |
| 諸謝金等    | 1,111.170円  |
| 土木建築費   | 1,198.490円  |
| 通信費     | 100.953円    |
| 運賃乗船料   | 1,579.136円  |
| 給料      | 3,615.140円  |
| 手当      | 1,036.900円  |
| 元場手当    | 699.000円    |
| カネダイ手当  | 275.000円    |
| マルダイ手当  | 277.000円    |
| 留萌漁場手当  | 253.500円    |
| ウスヤ漁場手当 | 520.000円    |
| 帳場経費    | 94.955円     |
| 入費      | 159.545円    |
| 支払      | 131.660円    |
| 渡し金     | 248.800円    |
| 計       | 28,603.015円 |

明治36年漁場生産高

| 摘要  | 金額          |
|-----|-------------|
| 絞め粕 | 33,782.113円 |
| 笹目  | 124.363円    |
| 胴鯨  | 637.359円    |
| 白子  | 120.908円    |
| 鱈   | 294.089円    |
| 身欠  | 336.381円    |
| 魚油  | 1,805.500円  |
| 計   | 37,100.713円 |

漁場生産物収入 37,100.713円  
 漁場関係支出 28,603.015円  
 差引 8,497.698円

表11 明治42年佐賀漁場の収支

明治42年漁場関係支出内訳

| 摘要    | 金額        |
|-------|-----------|
| 買い物の部 | 5,587.63  |
| 税金    | 1,489.13  |
| 運賃等   | 629.91    |
| 土木細工料 | 316.92    |
| 旅費報酬  | 278.65    |
| 寄付義捐金 | 348.86    |
| 支店経費  | 191.48    |
| 漁場経費  | 48.94     |
| 手当    | 465.06    |
| 給料    | 2,740.50  |
| 支払    | 31.43     |
| 保険代等  | 345.50    |
| 計     | 12,474.01 |

明治42年漁場生産高

| 摘要  | 金額       |
|-----|----------|
| 絞め粕 | 1,948.66 |
| 笹目  | 49.35    |
| 胴鯨  | 185.25   |
| 身欠  | 149.96   |
| 鱈   | 76.05    |
| 白子  | 24.37    |
| 魚油  | 209.25   |
| 計   | 2,642.89 |

漁場生産物収入 2,642.89  
 漁場関係支出 12,474.01  
 差引 -9,831.12

次に凶漁の年であった。明治42年の漁場関係だけの収支を見てみると、表11のようになる。この年は凶漁で漁獲物の総売上高は2,642円89銭しかなく、支出合計12,474円1銭を引くと、差引9,831円12銭の赤字となる。41年も不漁であったことから同程度の欠損が出たものと考えられる。この赤字の額は、明治36年の豊漁年の純益に近いことから、一度不漁になると豊漁年の純益が相殺されることがわかる。

そのため、不安定な鯨漁の直接経営のリスクを少しでも軽減するために、定置漁業の権利を賃貸または、現物納による漁場貸しをするようになる。佐賀家が初めて漁場を貸したのは、明治37年東定第2号行成網を福原宗太郎に賃貸10石、井口乙二郎に賃貸50石で貸したときである。38年には同じく東定第268号角網を井口乙二郎、稲延吉太郎に55石で、東定第12号鯨角網を二本柳音八に12石5斗で貸している。大正10年には1統を伊藤熊吉に1漁期2,150円50銭で賃貸契約を設定。大正12年の漁業調査報告書には佐賀清太郎名儀の定置権利が8統あり、その内2統を佐賀祥二郎及び永井伊惣治が経営している。この年は1統休業し、直営は4統であった。昭和2年には伊勢田仁太郎と3か年1漁期550円で賃貸契約を設定。昭和9年には4統、昭和11、12年は3統、昭和16年1統と定置漁業権を賃貸している。

このように昭和の不漁期に入ってから経営リスクの回避をすることにより、佐賀家の鯨場経営成り立ったのである。

もうひとつ、漁業の経営のリスク回避の手段としてとられたのが本業である商業、および仕込、牧場経営、不動産などの多角経営にあったことは論をまたないが、その分析は今後に譲りたい。

(福士 廣志)

## 註及び参考文献

- 1 佐賀家の言い伝えによると、佐賀家は九州佐賀の武士で龍造寺家の家臣であったという。故あって、故郷を捨て陸奥国南部田名部五千石の北通下風呂に居を定め、代々商業海運業を営んできたという。商号は⊗(マルニイゲタ)を使用しているが、本来の家紋を転用したものらしく、代々受け継がれてきた火事装束には背に井桁の紋がはいっている。その先祖については、下風呂定住後の家系が追えるのみである。

### 佐賀家歴代当主

|    |    |     |               |        |
|----|----|-----|---------------|--------|
| 初代 | 俗名 | 平兵衛 | 享保19年寅        | 10月22日 |
|    |    |     | 行年107才        |        |
| 2代 |    | 平之丞 | 延享4年卯         | 1月20日  |
|    |    |     | 行年82才         |        |
| 3代 |    | 平之丞 | 安永5年申         | 3月28日  |
|    |    |     | 行年78才         |        |
| 4代 |    | 平之丞 | 文政2年卯         | 9月4日   |
|    |    |     | 行年74才         |        |
| 5代 |    | 平之丞 | 弘化元年辰         | 3月18日  |
|    |    |     | 行年78才         |        |
|    |    |     | 実は別家大畑佐賀平七の子也 |        |
| 6代 | 俗名 | 銀蔵  | 文化12年亥        | 5月26日  |

- 7代 清右衛門 実は大畑佐賀惣助の子也。第7代目の妻の父たる由  
嘉永4年亥 6月3日  
行年39才
- 8代 平之丞 実は大畑別家鶴松の子也  
明治26年7月24日  
旧6月12日  
行年68才  
佐賀庄五郎の2男、庄四郎の兄也  
9代妻の父
- 9代 幾治 明治41年3月9日  
旧2月7日  
行年65才  
易国間林清助の2男 10代の父
- 10代 清太郎 昭和18年9月11日  
行年80才  
9代の長男
- 11代 伊四郎 昭和32年1月6日  
行年69才  
10代の長男
- 12代 平一郎 11代の長男 現当主
- 2 笹澤魯羊編 風間浦村誌 下北新報社 昭和13年 p59, 60
- 3 註2に同じ p87
- 4 鳴海健太郎 下北の海運と文化 北方新社 昭和52年 p202
- 5 天保八年十月の間屋看板が佐賀家に残されている。
- 6 天保四年水のと怨巳年 佐賀家所蔵文書
- 7 増第367号漁業者佐賀平之丞詳伝調査（北海道漁業誌 漁業家詳伝 北海道庁明治22年調査）北海道立図書館蔵河野常吉文庫  
河野常吉 北海道史人名字彙 昭和54年 北海道企画出版センター  
漁業家事蹟調 北水協会編纂 北海道漁業志稿 昭和10年  
北海道立志編  
佐賀平之丞略伝 佐賀清右衛門の事、佐賀庄四郎の事 （佐賀家所蔵文書写）
- 8 註7に同じ
- 9 越年人別改帳 弘化四年 佐賀家所蔵文書
- 10 當職面附帳 嘉永二年 佐賀家所蔵文書
- 11 公儀御役人様方御通行に付書上書（抜粹） 旧記書類写 留萌 河野常吉文庫北海道立図書館蔵
- 12 安政五年村垣淡路守様御廻浦書上写 旧記書類写 留萌
- 13 文久三年建網策網員数 旧記書類写 留萌
- 14 留萌水産会 留萌漁業沿革史  
留萌町 留萌町史 昭和20年

- 15 明治9年の旧請負人による漁場持の廃止まで、鮭、鱒の漁業は旧請負人だけに許されてきたものであり、二八取出身の佐賀家が鮭、鱒の建網を経営したのは明治10年以降の事と考えられる。
- 16 明治26年に8代佐賀平之丞が死去していることから、因（カクダイ）支配人の交代もこのころと考えられる。佐賀庄四郎は八代平之丞の実弟であり、孫の10代佐賀清太郎が明治27年に相続を済ませていることを考えると、支配人の交代も一緒に行っている可能性がある。次の支配人になった佐賀徳治は10代清太郎の実弟である。支配人交代の具体的日時は特定できないが、残されている公用書類の署名から行くと明治25,6年頃のことと考えられる。
- 17 免許漁業原簿 北海道開発調整部経済調査室図書室蔵  
明治34年4月 漁業法の公布され、翌35年7月1日施行された。これはわが国最初の漁業法として、戦後の昭和26年に新漁業法ができるまで我国の漁業秩序を維持する基本法であった。この法律によって、定置漁業権に関しては地方長官の管轄となり、操業の許可権を握った。この漁業権は私的財産となり、土地等と同じ扱いを受けた。この原簿は漁業権の登記簿の役目を果たしたものである。
- 18 隣接建網場とのトラブルは絶えなかったようで、建網場新設や角網への変更には隣接場所の漁業権者の了解を得なければ不可能であった。

#### 参考文献

佐賀漁場に関する表、図は次にあげる佐賀家所蔵資料によった。

## 因佐賀漁場関係 文献資料（仮）目録

| 番号 | 資 料 名          | 点数 | 形 態 | 作 成 年      | 摘 要     | 西暦   |
|----|----------------|----|-----|------------|---------|------|
| 1  | 営業方法書          | 1  |     | 年代不詳       |         |      |
| 2  | 土地貸下願          | 4  |     | 年代不詳       | 北海道庁長官宛 |      |
| 3  | 栖原支店（写）        | 1  | B 4 |            | 佐賀家文書   |      |
| 4  | 送り（写）          | 1  | B 4 |            | 佐賀家文書   |      |
| 5  | 書置状・心得書（写）     | 1  | B 4 | 延享3年       | 佐賀家文書   | 1746 |
| 6  | 付込帳            | 1  | 横帳  | 文政2年       | 佐賀家借用文書 | 1819 |
| 7  | 萬覚帳            | 1  | 横帳  | 文政5年1月     | 佐賀家借用文書 | 1822 |
| 8  | 天保4年水のと怨巳年（写）  | 1  | B 4 |            | 佐賀家文書   | 1832 |
| 9  | 往来旅人改扣書上帳（写）   | 1  | B 4 | 弘化3年       | 佐賀家文書   | 1846 |
| 10 | 越年人別改帳（写）      | 1  | B 4 | 弘化4年       | 佐賀家文書   | 1847 |
| 11 | 鮭場仕入物勘定帳（写）申七月 | 1  | B 4 | 嘉永元年       | 佐賀家文書   | 1848 |
| 12 | 萬覚帳            | 1  | 横帳  | 弘化5年（嘉永1年） | 佐賀家借用文書 | 1848 |
| 13 | 當職面附帳（写）       | 1  | B 4 | 嘉永2年       | 佐賀家文書   | 1849 |
| 14 | 鮭場仕込帳          | 1  | 横帳  | 嘉永3年       | 佐賀家借用文書 | 1850 |
| 15 | 鮭場仕入物勘定帳（写）卯十月 | 1  | B 4 | 安政2年       | 佐賀家文書   | 1855 |
| 16 | 鮭場仕入帳          | 1  | 横帳  | 安政3年11月    | 佐賀家借用文書 | 1856 |
| 17 | 鮭場仕入帳          | 1  | 横帳  | 安政3年       | 佐賀家借用文書 | 1856 |
| 18 | 鮭場萬覚帳          | 1  | 横帳  | 安政7年（万延1年） | 佐賀家借用文書 | 1860 |
| 19 | 大福帳            | 1  | 横帳  | 文久2年       |         | 1862 |
| 20 | 鮭場仕込帳          | 1  | 横帳  | 文久4年（元治1年） | 佐賀家借用文書 | 1864 |
| 21 | 付込帳            | 1  | 横帳  | 明治5年1月     | 佐賀家借用文書 | 1872 |
| 22 | 鮭場仕込帳          | 1  | 横帳  | 明治6年       | 佐賀家借用文書 | 1873 |
| 23 | 鮭場仕込帳          | 1  | 横帳  | 明治7年1月     | 佐賀家借用文書 | 1874 |
| 24 | 付込帳            | 1  | 横帳  | 明治9年10月    | 佐賀家借用文書 | 1876 |

| 番号 | 資 料 名           | 点数 | 形 態 | 作 成 年      | 摘 要                            | 西曆   |
|----|-----------------|----|-----|------------|--------------------------------|------|
| 25 | 御賣仕切外28篇(写)     | 1  | B 4 | 明治10年      | 佐賀家文書                          | 1877 |
| 26 | 鰯場仕込帳           | 1  | 横帳  | 明治13年      | 佐賀家借用文書                        | 1880 |
| 27 | 積込計算帳           | 1  | 横半帳 | 明治14年5月    | 明治18年まで                        | 1881 |
| 28 | 鰯場仕籠帳           | 1  | 横帳  | 明治15年      | 佐賀家借用文書                        | 1882 |
| 29 | 場所調帳            | 1  |     | 明治15年      |                                | 1882 |
| 30 | 諸願届綴            | 1  | B 5 | 明治16年      | 明治21年まで・寄留入届・着業願等              | 1883 |
| 31 | 諸品貸付帳           | 1  | 横帳  | 明治16年3月    |                                | 1883 |
| 32 | 安渡より場所まで差引書     | 1  | 横帳  | 明治16年      | 福治                             | 1883 |
| 33 | 通               | 1  |     | 明治16年9月    | 留萌栖原店                          | 1883 |
| 34 | 諸品買入差引請込帳       | 1  | 横帳  | 明治17年      |                                | 1884 |
| 35 | 諸品貸付帳           | 1  | 横帳  | 明治17年3月    |                                | 1884 |
| 36 | 官林・主副産物拂下規則(写)  | 1  | B 5 | 明治18年      |                                | 1885 |
| 37 | カナキ一艘張網・鱒沖引網(写) | 1  | B 4 | 明治18年      | 佐賀家文書                          | 1885 |
| 38 | 第1号附込帳          | 1  | 横帳  | 明治18年7月    |                                | 1885 |
| 39 | 漁船原簿            | 1  | B 5 | 明治18年9月    | 岬マルサン漁場                        | 1885 |
| 40 | 越歳若者貸付帳         | 1  | 横帳  | 明治19年8月    |                                | 1886 |
| 41 | 濱買入             | 1  |     | 明治19年3月    |                                | 1886 |
| 42 | 諸願届御指令書留        | 1  | B 5 | 明治20年1月    | 昭和6年まで                         | 1887 |
| 43 | 鰯場額帳            | 1  | 横帳  | 明治21年      | 佐賀家借用文書<br>(明治31年まで記載あり)       | 1888 |
| 44 | 附籠帳             | 1  | 横帳  | 明治21年7月    |                                | 1888 |
| 45 | 金銭請払帳           | 1  | 横帳  | 明治21年11月   |                                | 1888 |
| 46 | 若物諸品貸附帳         | 1  | 横帳  | 明治21年11月   |                                | 1888 |
| 47 | 古網控             | 1  | 横帳  | 明治21年12月5日 | 山本藤吉                           | 1888 |
| 48 | 残品調帳            | 1  | 横帳  | 明治21年3月    |                                | 1888 |
| 49 | 鰯場付込帳           | 1  | 横帳  | 明治22年      | 佐賀家借用文書                        | 1889 |
| 50 | 海産物調帳           | 1  | 横帳  | 明治22年      |                                | 1889 |
| 51 | 附籠帳             | 1  | 横帳  | 明治22年7月    |                                | 1889 |
| 52 | 漁場勘定帳           | 1  | 横帳  | 明治22年3月    |                                | 1889 |
| 53 | 諸願届雛形合綴         | 1  | B 5 | 明治22年1月    |                                | 1889 |
| 54 | 判取帳             | 1  |     | 明治22年3月    | 佐賀庄四郎                          | 1889 |
| 55 | 附込帳             | 1  | 横帳  | 明治23年7月    |                                | 1890 |
| 56 | 諸品受払帳           | 1  | 横帳  | 明治23年      |                                | 1890 |
| 57 | 倉庫残品帳           | 1  | 横帳  | 明治23年3月    |                                | 1890 |
| 58 | 丘備勘定帳           | 1  | 横帳  | 明治23年3月    |                                | 1890 |
| 59 | 漁場勘定帳           | 1  | 横帳  | 明治23年3月    |                                | 1890 |
| 60 | 漁場台帳            | 1  | 縦帳  | 明治24年11月   |                                | 1891 |
| 61 | 鰯場勘定帳           | 1  | 横帳  | 明治24年1月    | 佐賀家借用文書                        | 1891 |
| 62 | 鰯場仕込帳           | 1  | 横帳  | 明治24年      | 佐賀家借用文書                        | 1891 |
| 63 | 土地・建物・漁船台帳      | 1  | 帳簿  | 明治24年      | 昭和10年まで記載                      | 1891 |
| 64 | 附込帳             | 1  | 横帳  | 明治24年      |                                | 1891 |
| 65 | 漁場勘定帳           | 1  | 横帳  | 明治24年3月    |                                | 1891 |
| 66 | 判取帳             | 1  |     | 明治24年11月   |                                | 1891 |
| 67 | 地図綴             | 1  |     | 明治25年      | 佐賀漁場関係地番・地積図                   | 1892 |
| 68 | 官林木特許願          | 1  | B 5 | 明治25年      | 御料局札幌支庁増毛出張所宛                  | 1892 |
| 69 | 金銭出入帳           | 1  | 横帳  | 明治25年1月    |                                | 1892 |
| 70 | 当座帳             | 1  | B 5 | 明治25年      |                                | 1892 |
| 71 | 精算帳             | 1  | B 5 | 明治25年      |                                | 1892 |
| 72 | 収支精算帳(全)附精算(写)  | 1  | B 4 | 明治26年      | 佐賀家文書                          | 1893 |
| 73 | 鰯建網場変更願         | 1  | B 5 | 明治26年      | 留萌郡長宛                          | 1893 |
| 74 | 附籠帳             | 1  | 横帳  | 明治26年7月    |                                | 1893 |
| 75 | 使備勘定帳           | 1  | 横帳  | 明治26年3月    |                                | 1893 |
| 76 | 金銭出入帳           | 1  | 横帳  | 明治26年3月    |                                | 1893 |
| 77 | 諸願書綴集           | 1  | B 5 | 明治26年3月    |                                | 1893 |
| 78 | 大福帳             | 1  | 横帳  | 明治26年1月    | 明治32年まで記載あり。漁場勘定之部・<br>店卸之部・ほか | 1893 |
| 79 | 精算書・収支決算書(写)    | 1  | B 4 | 明治27年度     | 佐賀家文書                          | 1894 |
| 80 | 世話内貸□□□帳        | 1  | 横帳  | 明治27年      |                                | 1894 |
| 81 | 当座帳             | 1  | B 5 | 明治27年      |                                | 1894 |



| 番号  | 資料名          | 点数 | 形態  | 作成年                | 摘要                       | 西暦   |
|-----|--------------|----|-----|--------------------|--------------------------|------|
| 82  | 大福帳          | 1  | B 5 | 明治27年              |                          | 1894 |
| 83  | 精算簿(写)       | 1  | B 4 | 明治28年              | 佐賀家文書                    | 1895 |
| 84  | 附込帳          | 1  | 横帳  | 明治28年7月            |                          | 1895 |
| 85  | 使備勘定帳        | 1  | 横帳  | 明治28年3月            |                          | 1895 |
| 86  | 土地出願却下書類     | 1  | B 5 | 明治28年              | 明治28年以降                  | 1895 |
| 87  | 公用書類         | 1  | B 5 | 明治28年              |                          | 1895 |
| 88  | 判取帳          | 1  |     | 明治28年8月            |                          | 1895 |
| 89  | 濱            | 1  |     | 明治28年3月            |                          | 1895 |
| 90  | 臨時差引帳        | 1  | 帳簿  | 明治29年              |                          | 1896 |
| 91  | 精算帳-副-(写)    | 1  | B 4 | 明治29年              | 佐賀家文書                    | 1896 |
| 92  | 精算帳-正-(写)    | 1  | B 4 | 明治29年              | 佐賀家文書                    | 1896 |
| 93  | 店卸帳          | 1  | 横帳  | 明治29年7月            |                          | 1896 |
| 94  | 給料手当帳        | 1  | 横帳  | 明治29年3月            |                          | 1896 |
| 95  | 積出帳          | 1  | 横帳  | 明治29年7月            |                          | 1896 |
| 96  | 公用書類         | 1  | B 5 | 明治29年              |                          | 1896 |
| 97  | 総代人漁業組合納税所規則 | 1  | B 5 | 明治29年              |                          | 1896 |
| 98  | 使備勘定帳        | 1  | B 5 | 明治29年              |                          | 1896 |
| 99  | 大福帳          | 1  | B 5 | 明治29年              |                          | 1896 |
| 100 | 世話内荷物調帳      | 1  | 横帳  | 明治29年5月            |                          | 1896 |
| 101 | 精算帳-正-(写)    | 1  | B 4 | 明治30年              | 佐賀家文書                    | 1897 |
| 102 | 使備勘定帳        | 1  | 帳簿  | 明治30年              |                          | 1897 |
| 103 | 人夫帳          | 1  | 横帳  | 明治30年3月            |                          | 1897 |
| 104 | 公用書類         | 1  | B 5 | 明治31年              |                          | 1897 |
| 105 | 公用書類         | 1  | B 5 | 明治30年              |                          | 1897 |
| 106 | 金銭出入帳        | 1  | B 5 | 明治30年10月           |                          | 1897 |
| 107 | 金銭出入帳        | 1  | B 5 | 明治30年1月            |                          | 1897 |
| 108 | 精算帳-正-(写)    | 1  | B 4 | 明治31年度             | 佐賀家文書                    | 1898 |
| 109 | 精算帳-副-(写)    | 1  | B 4 | 明治31年度             | 佐賀家文書                    | 1898 |
| 110 | 精算帳-副-(写)    | 1  | B 4 | 明治31年度             | 佐賀家文書                    | 1898 |
| 111 | 仕込帳          | 1  | 横帳  | 明治31年              | 佐賀家借用文書<br>(明治41年まで記載あり) | 1898 |
| 112 | 差引帳          | 1  | 帳簿  | 明治31年              | 明治38年まで・漁獲物・仕入物品等        | 1898 |
| 113 | 金銭出入帳        | 1  | B 5 | 明治31年12月より32年10月まで |                          | 1898 |
| 114 | 使備勘定帳        | 1  | B 5 | 明治31年              |                          | 1898 |
| 115 | 仮称諸品出入帳      | 1  | B 5 | 明治32年から            |                          | 1899 |
| 116 | 付込帳          | 1  | 横帳  | 明治32年              | 佐賀家借用文書                  | 1899 |
| 117 | 金銭出入帳        | 1  | 帳簿  | 明治32年              |                          | 1899 |
| 118 | 精算帳-副-(写)    | 1  | B 4 | 明治32年              | 佐賀家文書                    | 1899 |
| 119 | 公用書類         | 1  | B 5 | 明治32年              |                          | 1899 |
| 120 | 判取帳          | 1  |     | 明治32年4月            |                          | 1899 |
| 121 | 精算帳-副-(写)    | 1  | B 4 | 明治33年度             | 佐賀家文書                    | 1900 |
| 122 | 使備勘定帳        | 1  | 帳簿  | 明治33年度             |                          | 1900 |
| 123 | 漁場勘定帳        | 1  | 横帳  | 明治33年9月            |                          | 1900 |
| 124 | 公用書類         | 1  | B 5 | 明治33年              |                          | 1900 |
| 125 | 貸家貸地賃調帳      | 1  | B 5 | 明治33年11月           |                          | 1900 |
| 126 | 金銭出入帳        | 1  | 横帳  | 明治33年12月           |                          | 1900 |
| 127 | 漁場決算書        | 1  | 帳簿  | 明治34年              | 各漁場                      | 1901 |
| 128 | 精算帳-副-(写)    | 1  | B 4 | 明治34年              | 佐賀家文書                    | 1901 |
| 129 | 金銭出入帳        | 1  | 帳簿  | 明治34年              |                          | 1901 |
| 130 | 公用書類綴        | 1  | B 5 | 明治34年              |                          | 1901 |
| 131 | 使備勘定帳        | 1  | B 5 | 明治34年              |                          | 1901 |
| 132 | 精算帳-副-(写)    | 1  | B 4 | 明治35年度             | 佐賀家文書                    | 1902 |
| 133 | 公用書類綴        | 1  | B 5 | 明治35年              |                          | 1902 |
| 134 | 金銭請払帳        | 1  | 横帳  | 明治35年度             | 自明治34年4月 至明治35年7月迄       | 1902 |
| 135 | 使備勘定帳        | 1  | 帳簿  | 明治35年度             |                          | 1902 |
| 136 | 掛鯨玉数調帳       | 1  | 横帳  | 明治35年4月            | カネダイ                     | 1902 |
| 137 | 掛鯨玉数調帳       | 1  | 横帳  | 明治35年4月            |                          | 1902 |
| 138 | 掛鯨玉数調帳       | 1  | 横帳  | 明治35年4月            | マルダイ                     | 1902 |
| 139 | 掛鯨玉数調帳       | 1  | 横帳  | 明治35年4月            | 元漁場                      | 1902 |



| 番号  | 資料名             | 点数 | 形態  | 作成年                | 摘要                           | 西暦   |
|-----|-----------------|----|-----|--------------------|------------------------------|------|
| 140 | 手廻掛練玉数調帳        | 1  | 横帳  | 明治35年4月            |                              | 1902 |
| 141 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治35年4月            | 留萌漁場                         | 1902 |
| 142 | 留萌共同焚玉数調帳       | 1  | 横帳  | 明治35年4月            | ウスヤ漁場                        | 1902 |
| 143 | 土蔵建築経費帳         | 1  | 横帳  | 明治35年5月            |                              | 1902 |
| 144 | 北海道漁業取締規則解釈(正本) | 1  | B 6 | 明治36年              |                              | 1903 |
| 145 | 公用書類綴           | 1  | B 5 | 明治36年              |                              | 1903 |
| 146 | 留萌堤防敷地契約書入      | 1  | B 5 | 明治36年・同41年         |                              | 1903 |
| 147 | 使備勘定帳           | 1  | 帳簿  | 明治36年              |                              | 1903 |
| 148 | 精算帳-副一(写)       | 1  | B 4 | 明治36年              | 佐賀家文書                        | 1903 |
| 149 | 附込帳             | 1  | 横帳  | 明治36年3月            |                              | 1903 |
| 150 | 漁夫給料・手当調帳       | 1  | 横帳  | 明治37年・同38年         |                              | 1904 |
| 151 | 漁船台帳            | 1  |     | 明治37年              | 明治37年・同39年・大正2年(3年綴)         | 1904 |
| 152 | 使備勘定帳           | 1  | 帳簿  | 明治37年度             |                              | 1904 |
| 153 | 精算帳-副一(写)       | 1  | B 4 | 明治37年              | 佐賀家文書                        | 1904 |
| 154 | 公用書類綴           | 1  | B 5 | 明治37年              |                              | 1904 |
| 155 | 5ヶ所掛練玉数調帳       | 1  | 横帳  | 明治37年4月            |                              | 1904 |
| 156 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治37年4月            | 元場                           | 1904 |
| 157 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治37年4月            | カネダイ                         | 1904 |
| 158 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治37年4月            | マルダイ                         | 1904 |
| 159 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治37年4月            | ウスヤ漁場                        | 1904 |
| 160 | 5ヶ所手間取具帳        | 1  | 横帳  | 明治37年4月            |                              | 1904 |
| 161 | 手廻掛練玉数調帳        | 1  | 横帳  | 明治37年4月            |                              | 1904 |
| 162 | 漁場貸賃石数調         | 1  | B 5 | 明治37年              |                              | 1904 |
| 163 | 金銭判取帳           | 1  | B 5 | 明治37年6月より明治41年5月まで |                              | 1904 |
| 164 | 記               | 1  | B 5 | 明治37年度             |                              | 1904 |
| 165 | 公用書類綴           | 1  | B 5 | 明治38年              |                              | 1905 |
| 166 | 使備勘定帳           | 1  | 帳簿  | 明治38年度             |                              | 1905 |
| 167 | 題名ナン(仮称金銭出入帳)   | 1  | 帳簿  | 明治38年              | 大正6年まで・金銭出納簿?                | 1905 |
| 168 | 甲号差引帳           | 1  | 帳簿  | 明治38年              | 明治45年まで・漁場・地代・現金貸付・物品購入等     | 1905 |
| 169 | 乙号差引帳           | 1  | 帳簿  | 明治38年              | 明治40年まで・漁獲物販売・用具買入(甲号との対比必要) | 1905 |
| 170 | 精算帳-正一(写)       | 1  | B 4 | 明治38年度             | 佐賀家文書                        | 1905 |
| 171 | 漁場貸賃原簿          | 1  | B 5 | 明治38年              |                              | 1905 |
| 172 | 覚(仮称)           | 1  | B 5 | 明治38年              |                              | 1905 |
| 173 | 公用書類綴           | 1  | B 5 | 明治39年              |                              | 1906 |
| 174 | 精算帳(写)          | 1  | B 4 | 明治39年              | 佐賀家文書                        | 1906 |
| 175 | 送り状 本店(写)       | 1  | B 4 | 明治39年              | 佐賀家文書                        | 1906 |
| 176 | 使備勘定帳           | 1  | 帳簿  | 明治39年度             |                              | 1906 |
| 177 | 漁場貸賃帳           | 1  | B 5 | 明治39年              |                              | 1906 |
| 178 | 覚(仮称)           | 1  | B 5 | 明治39年              |                              | 1906 |
| 179 | 海濱地指令書          | 1  | B 5 | 明治40年度             | 明治40年以降                      | 1907 |
| 180 | 使備勘定帳           | 1  | 帳簿  | 明治40年              |                              | 1907 |
| 181 | 公用書類綴           | 1  | B 5 | 明治40年              |                              | 1907 |
| 182 | 練場勘定帳           | 1  | 横帳  | 明治40年1月            | 佐賀家借用文書                      | 1907 |
| 183 | 漁場貸賃帳           | 1  | B 5 | 明治40年              |                              | 1907 |
| 184 | 覚               | 1  | B 5 | 明治40年10月16日より      |                              | 1907 |
| 185 | 覚(仮称)           | 1  | B 5 | 明治40年              |                              | 1907 |
| 186 | 金銭出入帳           | 1  | 横帳  | 明治40年3月            |                              | 1907 |
| 187 | 手廻掛練玉数調帳        | 1  | 横帳  | 明治40年4月            |                              | 1907 |
| 188 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治40年4月            | 因元漁場                         | 1907 |
| 189 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治40年4月            | 田漁場                          | 1907 |
| 190 | 各漁場掛練玉数調帳       | 1  | 横帳  | 明治40年4月            | 元場・白谷・田・井漁場                  | 1907 |
| 191 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治40年4月            | 白谷漁場                         | 1907 |
| 192 | 各漁場手間取具渡帳       | 1  | 横帳  | 明治40年4月            |                              | 1907 |
| 193 | 掛練玉数調帳          | 1  | 横帳  | 明治40年4月            | 井漁場                          | 1907 |
| 194 | 乙号差引帳           | 1  | 帳簿  | 明治41年              | 明治44年まで・漁獲物販売・用具買入(甲号との対比必要) | 1908 |
| 195 | 公用綴             | 1  | B 5 | 明治41年              |                              | 1908 |

| 番号  | 資料名         | 点数 | 形態  | 作成年         | 摘要                           | 西暦   |
|-----|-------------|----|-----|-------------|------------------------------|------|
| 196 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 明治41年       |                              | 1908 |
| 197 | 精算帳一正一(写)   | 1  | B 4 | 明治42年       | 佐賀家文書                        | 1909 |
| 198 | 鯨鮑鰯方勘定帳     | 1  | 横帳  | 明治42年       | 佐賀家借用文書                      | 1909 |
| 199 | 金銭出入帳(仮称)   | 1  | 帳簿  | 明治42年度      |                              | 1909 |
| 200 | 附込帳         | 1  | 横帳  | 明治42年9月     |                              | 1909 |
| 201 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 明治42年       |                              | 1909 |
| 202 | 精算帳一正一(写)   | 1  | B 4 | 明治43年       | 佐賀家文書                        | 1910 |
| 203 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 明治43年       |                              | 1910 |
| 204 | 漁場蔵入帳       | 1  | 横帳  | 明治43年6月     |                              | 1910 |
| 205 | カネダイ漁場漁具渡帳  | 1  | 横帳  | 明治43年3月     |                              | 1910 |
| 206 | 漁具残物帳       | 1  | 横帳  | 明治43年6月     |                              | 1910 |
| 207 | 蔵々残物帳       | 1  | 横帳  | 明治43年3月     |                              | 1910 |
| 208 | 覚(仮称)       | 1  | B 5 | 明治43年       |                              | 1910 |
| 209 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 明治43年       |                              | 1910 |
| 210 | 金銭出入帳       | 1  | 横帳  | 明治43年3月     |                              | 1910 |
| 211 | 貸地・貸家賃取立帳   | 1  | 横帳  | 明治43年11月    |                              | 1910 |
| 212 | 使備勘定帳       | 1  | 帳簿  | 明治44年度      |                              | 1911 |
| 213 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 明治44年       |                              | 1911 |
| 214 | 精算帳一正一(写)   | 1  | B 4 | 明治44年       | 佐賀家文書                        | 1911 |
| 215 | 各漁場掛鯨玉数調帳   | 1  | 横帳  | 明治44年4月     |                              | 1911 |
| 216 | 甲号差引帳       | 1  | 帳簿  | 明治45年       | 大正9年まで・漁場・地代・現金貸付・物品購入等      | 1912 |
| 217 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 明治45年       |                              | 1912 |
| 218 | 乙号差引帳       | 1  | 帳簿  | 明治45年       | 大正4年まで・漁獲物販売・用具買入(甲号との対比必要)  | 1912 |
| 219 | 精算帳一正一(写)   | 1  | B 4 | 明治45年・大正元年度 | 佐賀家文書                        | 1912 |
| 220 | 金銭出入帳(仮称)   | 1  | 帳簿  | 明治45年度      | 大正元年                         | 1912 |
| 221 | 附込帳         | 1  | 横帳  | 明治45年3月     |                              | 1912 |
| 222 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 明治45年       |                              | 1912 |
| 223 | 畑地貸賃取立帳     | 1  | 横帳  | 大正2年        |                              | 1913 |
| 224 | 精算帳一正一(写)   | 1  | B 4 | 大正2年        | 佐賀家文書                        | 1913 |
| 225 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正2年度       |                              | 1913 |
| 226 | 覚(仮称)       | 1  | B 5 | 大正2年        |                              | 1913 |
| 227 | 貸地・貸家賃取立帳   | 1  | 横帳  | 大正2年1月      |                              | 1913 |
| 228 | 畑地貸賃取立帳     | 1  | 横帳  | 大正3年        |                              | 1914 |
| 229 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正3年度       |                              | 1914 |
| 230 | 精算帳一正一(写)   | 1  | B 4 | 大正3年        | 佐賀家文書                        | 1914 |
| 231 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 大正3年        |                              | 1914 |
| 232 | 諸品受払帳       | 1  | B 5 | 大正3年        |                              | 1914 |
| 233 | 覚(仮称)       | 1  | B 5 | 大正3年        |                              | 1914 |
| 234 | 金銭出入帳(仮称)   | 1  | 帳簿  | 大正4年度       |                              | 1915 |
| 235 | 貸家・貸地台帳     | 1  | 帳簿  | 大正4年        | 大正14年まで                      | 1915 |
| 236 | 乙号差引帳       | 1  | 帳簿  | 大正4年        | 大正13年まで・漁獲物販売・用具買入(甲号との対比必要) | 1915 |
| 237 | 公用綴         | 1  | B 5 | 大正4年度       |                              | 1915 |
| 238 | 貸地・貸家賃取立帳   | 1  | 横帳  | 大正4年1月      |                              | 1915 |
| 239 | 畑地貸賃取立帳     | 1  | 横帳  | 大正4年7月      |                              | 1915 |
| 240 | 覚           | 1  | 横帳  | 大正4年12月     | 各証書文一覽・明治35年11月28日の日付け       | 1915 |
| 241 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正5年度       |                              | 1916 |
| 242 | 漁場精算書       | 1  | 堅帳  | 大正5年        |                              | 1916 |
| 243 | 諸品直盛帳       | 1  | 横帳  | 大正5年6月      | 大正5年以降                       | 1916 |
| 244 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 大正5年度       |                              | 1916 |
| 245 | 覚(仮称)       | 1  | B 5 | 大正5年6年      |                              | 1916 |
| 246 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正6年        |                              | 1917 |
| 247 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 大正6年度       |                              | 1917 |
| 248 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正7年度       |                              | 1918 |
| 249 | 金銭出入帳(仮称)   | 1  | 帳簿  | 大正7年度       |                              | 1918 |
| 250 | 海産物調書・鯨製品調書 | 1  | 帳簿  | 大正7年        | 昭和9年まで(昭和8年欠落)               | 1918 |

| 番号  | 資 料 名       | 点数 | 形 態 | 作 成 年      | 摘 要                              | 西曆   |
|-----|-------------|----|-----|------------|----------------------------------|------|
| 251 | カネダイ漁場漁具明細書 | 1  | B 5 | 大正 7 年     |                                  | 1918 |
| 252 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 大正 7 年     |                                  | 1918 |
| 253 | 使備勘定帳       | 1  | 帳簿  | 大正 8 年度    |                                  | 1919 |
| 254 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正 8 年度    |                                  | 1919 |
| 255 | 金銭出入帳 (仮称)  | 1  | 帳簿  | 大正 8 年度    |                                  | 1919 |
| 256 | 精算書         | 1  |     | 大正 8 年     |                                  | 1919 |
| 257 | 金銭出入帳       | 1  | 横帳  | 大正 8 年     |                                  | 1919 |
| 258 | カネダイ漁場漁具渡帳  | 1  | 横帳  | 大正 8 年 3 月 |                                  | 1919 |
| 259 | 各所掛鯨玉数調帳    | 1  | 横帳  | 大正 8 年 4 月 |                                  | 1919 |
| 260 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正 9 年度    |                                  | 1920 |
| 261 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 大正 9 年     |                                  | 1920 |
| 262 | 甲台帳         | 1  | 帳簿  | 大正10年以降    | 漁場・地代・物品等 199名分                  | 1921 |
| 263 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正10年度     |                                  | 1921 |
| 264 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 大正10年度     |                                  | 1921 |
| 265 | 仕訳帳         | 1  | B 5 | 大正11年      |                                  | 1922 |
| 266 | 公文書類綴       | 1  | B 5 | 大正11年度     |                                  | 1922 |
| 267 | 使備勘定帳       | 1  | B 5 | 大正11年      |                                  | 1922 |
| 268 | 付込帳         | 1  | 横帳  | 大正11年11月   |                                  | 1922 |
| 269 | 使備勘定帳       | 1  | 帳簿  | 大正12年度     |                                  | 1923 |
| 270 | 刈塚荷渡帳       | 1  | 横帳  | 大正12年 4 月  | 久々津商店代・小樽に汽車積                    | 1923 |
| 271 | 刈塚荷渡帳       | 1  | 横帳  | 大正12年 4 月  | 旭川汽車積・胴鯨                         | 1923 |
| 272 | 生身欠荷渡帳      | 1  | 横帳  | 大正12年 4 月  | 元場                               | 1923 |
| 273 | 雑粕荷渡帳       | 1  | 横帳  | 大正12年 5 月  |                                  | 1923 |
| 274 | 笹目荷渡帳       | 1  | 横帳  | 大正12年 5 月  | 元場                               | 1923 |
| 275 | 日下部身欠荷渡帳    | 1  | 横帳  | 大正12年 5 月  | 白谷                               | 1923 |
| 276 | 海産物買入帳      | 1  | 横帳  | 大正12年 6 月  |                                  | 1923 |
| 277 | 雑粕受取帳       | 1  | 横帳  | 大正12年 6 月  | 白谷・元場                            | 1923 |
| 278 | 今立魚油荷渡帳     | 1  | 横帳  | 大正12年 7 月  |                                  | 1923 |
| 279 | 刈塚荷渡帳       | 1  | 横帳  | 大正12年10月   |                                  | 1923 |
| 280 | 刈塚胴鯨荷渡帳     | 1  | 横帳  | 大正12年12月   |                                  | 1923 |
| 281 | 使備勘定帳       | 1  | 帳簿  | 大正13年度     |                                  | 1924 |
| 282 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正13年度     | 大正12年合綴                          | 1924 |
| 283 | 差引帳・仕切帳     | 1  | 帳簿  | 大正13年 8 月  | 昭和10年まで                          | 1924 |
| 284 | 公用書類綴       | 1  | B 5 | 大正14年度     | 大正15年度・昭和 2 年度合綴                 | 1925 |
| 285 | 使備勘定帳       | 1  | 帳簿  | 大正14年度     |                                  | 1925 |
| 286 | 金銭出入帳       | 1  | 帳簿  | 大正14年      | 大正15年・昭和 2 年                     | 1925 |
| 287 | 各倉庫漁具出入扣    | 1  | 横帳  | 大正14年 4 月  | 土丹蔵・沓番蔵・四番蔵・五番蔵・七番蔵・賄蔵・分形        | 1925 |
| 288 | 掛鯨玉数調帳      | 1  | 横帳  | 大正14年 4 月  |                                  | 1925 |
| 289 | 使備勘定帳       | 1  | 帳簿  | 大正15年度     |                                  | 1926 |
| 290 | 漁具残物扣       | 1  | 横帳  | 大正15年 5 月  | トロッコ使用                           | 1926 |
| 291 | 蔵々残物帳       | 1  | 横帳  | 大正15年 6 月  | 沓番蔵・四番蔵・五番蔵・七番蔵・土丹蔵・賄蔵           | 1926 |
| 292 | 店用受拂帳       | 1  | 帳簿  | 大正15年      |                                  | 1927 |
| 293 | 各所廻人別帳      | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 3 月 | 附：日向丸(切揚船)乗船者氏名及年令・昭和 2 年 6 月10日 | 1927 |
| 294 | 金物蔵出帳       | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 3 月 |                                  | 1927 |
| 295 | 切符下附帳       | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 3 月 | 大湊に於て                            | 1927 |
| 296 | 蔵々残物帳       | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 3 月 | 沓番蔵・四番蔵・五番蔵・七番蔵・土丹蔵・賄蔵           | 1927 |
| 297 | 沓号分形網蔵出帳    | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 3 月 | 永井                               | 1927 |
| 298 | 漁具蔵出帳       | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 3 月 |                                  | 1927 |
| 299 | 式号分形網蔵出帳    | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 3 月 | 鹿糠                               | 1927 |
| 300 | 分形網収獲調帳     | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 4 月 | 永井・鹿糠分形                          | 1927 |
| 301 | 掛鯨玉数調帳      | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 4 月 |                                  | 1927 |
| 302 | 各所掛鯨玉数調帳    | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 4 月 | 元場・白谷漁場                          | 1927 |
| 303 | 喜久丸品貸付帳     | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 4 月 |                                  | 1927 |
| 304 | 釜焚沖上粕干出面支払帳 | 1  | 横帳  | 昭和 2 年 4 月 |                                  | 1927 |
| 305 | 使備帳         | 1  | 帳簿  | 昭和 3 年度以降  | 昭和4.5. 6 年                       | 1928 |

| 番号  | 資 料 名            | 点数 | 形 態 | 作 成 年   | 摘 要                                | 西曆   |
|-----|------------------|----|-----|---------|------------------------------------|------|
| 306 | 漁具蔵出帳            | 1  | 横帳  | 昭和3年3月  |                                    | 1928 |
| 307 | 浜塚漁具受取帳・濱塚漁具渡帳   | 1  | 横帳  | 昭和3年5月  | 浜塚漁具受取帳(5月)・濱塚漁具渡帳(3月)             | 1928 |
| 308 | 貸地台帳             | 1  | 帳簿  | 昭和4年    |                                    | 1929 |
| 309 | 總経費帳(店用請拂)       | 1  | 帳簿  | 昭和4年    |                                    | 1929 |
| 310 | 當座帳              | 1  | 横帳  | 明治4年    | 佐賀家借用文書                            | 1929 |
| 311 | 公用書類綴            | 1  | B5  | 昭和4年1月  |                                    | 1929 |
| 312 | 重用書類扣            | 1  | 帳簿  | 昭和4年1月  | 契約書、諸手続きの草案文等                      | 1929 |
| 313 | 金銭出入帳            | 1  | 帳簿  | 昭和4年    | 昭和5.6年                             | 1929 |
| 314 | 各店買物帳            | 1  | B5  | 昭和4年    |                                    | 1929 |
| 315 | 漁夫雇入金銭受払帳        | 1  | 横帳  | 昭和4年3月  |                                    | 1929 |
| 316 | 總経費帳(雑費買物ノ部)参册ノ内 | 1  | 帳簿  | 昭和5年    | 昭和6・7年                             | 1930 |
| 317 | 總経費帳(本店用請拂)      | 1  | 帳簿  | 昭和5年    |                                    | 1930 |
| 318 | 貸地貸家台帳           | 1  | 帳簿  | 昭和5年    | 昭和4年まで                             | 1930 |
| 319 | 公文書綴             | 1  | B5  | 昭和5年度   |                                    | 1930 |
| 320 | 公文書綴             | 1  | B5  | 昭和6年度   |                                    | 1931 |
| 321 | 總経費帳             | 1  | 帳簿  | 昭和6年    |                                    | 1931 |
| 322 | 仕込帳              | 1  | 横帳  | 昭和6年    |                                    | 1931 |
| 323 | 金銭出入帳            | 1  | 帳簿  | 昭和6年度   | 昭和7.8.9年                           | 1931 |
| 324 | 掛練玉数調帳           | 1  | 横帳  | 昭和6年3月  |                                    | 1931 |
| 325 | 諸品一時貸付帳          | 1  | 横帳  | 昭和6年3月  |                                    | 1931 |
| 326 | 永井・鹿糠分形網蔵出入帳     | 1  | 横帳  | 昭和6年3月  |                                    | 1931 |
| 327 | 各場所収獲帳           | 1  | 横帳  | 昭和6年4月  | 元場・鹿糠・永井漁場・山守廣次                    | 1931 |
| 328 | 漁具蔵入帳            | 1  | 横帳  | 昭和6年6月  | 壹番蔵・六番蔵・五番蔵・四番蔵・雑羽入ノ蔵・田廊下蔵・元場ノむしろ蔵 | 1931 |
| 329 | 使備帳              | 1  | 帳簿  | 昭和7年度以降 | 昭和7.8.9年                           | 1932 |
| 330 | 大福帳              | 1  | 横帳  | 昭和7年    |                                    | 1932 |
| 331 | 山守貸場網蔵出帳         | 1  | 横帳  | 昭和7年3月  | 白谷・山守廣次                            | 1932 |
| 332 | 貸地台帳             | 1  | 帳簿  | 昭和8年    |                                    | 1933 |
| 333 | 總経費帳             | 1  | 帳簿  | 昭和8年1月  | 費目毎に明細記入                           | 1933 |
| 334 | 總経費帳             | 1  | 帳簿  | 昭和8年    |                                    | 1933 |
| 335 | 當用日記             | 1  | B5  | 昭和8年    |                                    | 1933 |
| 336 | 判取帳              | 1  |     | 昭和8年    |                                    | 1933 |
| 337 | 附込帳              | 1  | 横帳  | 昭和9年4月  | 昭和11年9月まで                          | 1934 |
| 338 | 金銭出入帳            | 1  | 帳簿  | 昭和9年    | 昭和10.11.12年                        | 1934 |
| 339 | 日記               | 1  | e6  | 昭和9年    | 昭和10年も記載                           | 1934 |
| 340 | 總経費帳             | 1  | 帳簿  | 昭和9年    |                                    | 1934 |
| 341 | 總経費帳             | 1  | 帳簿  | 昭和9年    |                                    | 1934 |
| 342 | 仮称仕切差引帳          | 1  | B5  | 昭和9年    |                                    | 1934 |
| 343 | 總経費帳             | 1  | 帳簿  | 昭和10年   |                                    | 1935 |
| 344 | 貸地台帳             | 1  | 帳簿  | 昭和10年   |                                    | 1935 |
| 345 | 消込帳              | 1  | 横帳  | 昭和10年3月 | 佐賀家借用文書                            | 1935 |
| 346 | 山守貸場漁具倉出入帳       | 1  | 横帳  | 昭和10年3月 |                                    | 1935 |
| 347 | 總経費帳(第1号)        | 1  | 帳簿  | 昭和11年   |                                    | 1936 |
| 348 | 總経費帳(第2号)        | 1  | 帳簿  | 昭和11年   |                                    | 1936 |
| 349 | 附込帳              | 1  | 横帳  | 昭和11年   |                                    | 1936 |
| 350 | 漁場人別帳            | 1  | 横帳  | 昭和11年3月 |                                    | 1936 |
| 351 | 諸品貸付帳            | 1  | 横帳  | 昭和11年3月 |                                    | 1936 |
| 352 | 山守貸場漁具倉出入帳       | 1  | 横帳  | 昭和11年3月 |                                    | 1936 |
| 353 | 總経費帳             | 1  | B5  | 昭和12年   |                                    | 1937 |
| 354 | 漁場人別帳            | 1  | 横帳  | 昭和12年   |                                    | 1937 |
| 355 | 貸地台帳             | 1  | 帳簿  | 昭和12年   |                                    | 1937 |
| 356 | 漁場倉出入帳           | 1  | 横帳  | 昭和12年   |                                    | 1937 |
| 357 | 總経費帳             | 1  | 帳簿  | 昭和12年   |                                    | 1937 |
| 358 | 使備帳              | 1  | 帳簿  | 昭和12年   |                                    | 1937 |
| 359 | 経費帳              | 1  | 帳簿  | 昭和13年   |                                    | 1938 |
| 360 | 永井鹿糠歩形網倉出入帳      | 1  | 横帳  | 昭和13年3月 |                                    | 1938 |
| 361 | 人別帳              | 1  | 横帳  | 昭和13年3月 | 船頭等役の明記あり                          | 1938 |
| 362 | 貸地台帳             | 1  | B5  | 昭和14年   |                                    | 1939 |

| 番号  | 資 料 名    | 点数 | 形 態 | 作 成 年    | 摘 要   | 西曆                     |
|-----|----------|----|-----|----------|---|------------------------|
| 363 | 付込帳      | 1  | 横帳  | 昭和14年    | 自昭和14年 至昭和16年迄の記載あり<br>元場・永井・鹿糠・長尾・山守<br>青森関係 | 1939                   |
| 364 | 鹿糠歩形網倉入帳 | 1  | 横帳  | 昭和14年5月  |   | 1939                   |
| 365 | 各漁場収獲調帳  | 1  | 横帳  | 昭和14年3月  |   | 1939                   |
| 366 | 漁夫人別帳    | 1  | 横帳  | 昭和14年3月  |   | 1939                   |
| 367 | 金銭出入帳    | 1  | 横帳  | 昭和14年12月 |   | 1939                   |
| 368 | 地賃取立覚    | 1  | B 5 | 昭和15年    |   | 1940                   |
| 369 | 漁具蔵入帳    | 1  | 横帳  | 昭和15年    |   | 1940                   |
| 370 | 大帳       | 1  | B 5 | 昭和15年1月  |   | 1940                   |
| 371 | 漁具蔵入帳    | 1  | 横帳  | 昭和16年5月  |   | 1941                   |
| 372 | 日 誌      | 1  | 帳簿  | 昭和16年度   |   | 一部昭和17年度分・及び漁撈に関するメモあり |
| 373 | 人別調帳     | 1  | 横帳  | 昭和19年3月  |   | 1944                   |
| 374 | 支出内訳帖    | 1  | ノ一ト | 昭和22年    |   | 1947                   |
| 375 | 労働者名簿    | 1  | B 5 | 昭和25年    |   | 1950                   |
| 376 | 算金台帳     | 1  | B 5 | 昭和25年    |   | 1950                   |
| 377 | 買物帳      | 1  |     | 昭和26年度   |   | 1951                   |

# 鯨 関 係 年 表

| 暦年号            | で  | き | こ | と |
|----------------|--|---|---|---|
| 1441 文安 4      | 陸奥の馬之助松前白符村に来て鯨漁に従事  |   |   |   |
| 1590 天正18      | 蠣崎慶広が豊臣秀吉より蝦夷島主の待遇を受け、蝦夷地の実質的支配者となる。   |   |   |   |
| 1596 慶長年間<br>} | ルルモッベ場所開設される。  |   |   |   |
| 1614           | 徳川家康征夷大將軍に任ぜられる。   |   |   |   |
| 1601 慶長 6      | 爾志郡突符村で鯨漁が始められる。   |   |   |   |
| 1614 慶長19      | 福山の八木八右衛門西蝦夷地小樽内に来て鯨漁を始める。   |   |   |   |
| 1627 寛永 4      | 初代佐賀平兵衛生まれる。   |   |   |   |
| 1634 寛永11      | 松前景広(慶広の第6子)ルルモッベ場所の知行主となる。  |   |   |   |
| 1663 寛文 3      | 2代佐賀平之丞生まれる。   |   |   |   |
| 1667 寛文 7      | 敦賀向けの移出品に鯨と数の子がみられる。(敦賀郡誌)   |   |   |   |
| 1669 寛文 9      | 西蝦夷地土産物の中に鯨と数の子がみられる。(津軽一統志)   |   |   |   |
| 1688 元禄元       | 下風呂薬師如来記に里長佐賀氏の名あり。  |   |   |   |
| 1690 元禄 3      | 1月30日、松前藩、鯨取船1隻より砂金1分宛徴収、高間帳付1人に付10匁宛支度金として下付、残りを鯨御小屋雑用に充てることにする。(松前沖之口御役所規定書) |   |   |   |
|                | 2月10日、鯨御条目・沖の口法度書を鯨御小屋奉行氏家只右衛門に下付。江差より粒鯨・明鮑の直送を願出する者には水主1人に付金3分宛徴収。            |   |   |   |
|                | 熊石村以北への追い鯨禁止   |   |   |   |
| 1691 元禄 4      |  |   |   |   |
| 1692 元禄 5      | 3代佐賀平之丞生まれる。   |   |   |   |
| 1701 元禄14      | 鯨披及び切数の子を幕府へ献上<br>蝦夷地和人口20,086人(福山秘府)  |   |   |   |
| 1706 宝永 3      | 鯨身欠きを幕府へ献上   |   |   |   |
| 1710 宝永 7      | 蝦夷の産物として鯨身欠き、鯨披、干鯨あり。(蝦夷記)   |   |   |   |
| 1717 享保 2      | 端鯨(胴鯨)、鯨身欠き、丸干鯨、数の子、白子、寄鯨子あり。(松前蝦夷記)   |   |   |   |
|                | この年まで鯨役は一律に干鯨14丸(1丸は鯨200本)   |   |   |   |
| 1719 享保 4      | このころからルルモッベ場所は松前藩土工藤家の世襲地となる。一時岡田弥三右衛門(2代以降)がルルモッベ場所請負人となる。                    |   |   |   |
|                | 西蝦夷地への追い鯨漁緩和。  |   |   |   |
|                | 松前藩鯨役改正。漁獲高の15分の1を鯨役として徴収。   |   |   |   |
| 1734 享保19      | 10月22日初代平兵衛死去。享年107歳。  |   |   |   |
| 1741 元文 6 寛保元  | 4代佐賀平之丞生まれる。   |   |   |   |
| 1746 延享 3      | 青森で松前鯨場渡船の調査実施。総数68隻、船頭水主ら203人を数える。  |   |   |   |
| 1747 延享 4      | 1月20日2代佐賀平之丞死去。享年82歳。  |   |   |   |
| 1750 寛延 3      | 初代村山伝兵衛がルルモッベ場所の請負人になる。  |   |   |   |
| 寛延年間           | 松前鯨の諸国への販路拡大。  |   |   |   |
| 1753 宝暦 3      | 鯨役改正。漁獲高の15分の1の東役(現物納)をやめ、漁船の大小による船役を課す。(図合船金3歩、                               |   |   |   |

| 暦年号        | で   | き | こ | と  |
|------------|---|---|---|--|
| 1755 宝暦 5  |   |   |   | 三半船金1歩)  |
| 1760 宝暦 10 |   |   |   | 鯨船役1隻に付金1歩増額。  |
| 1766 明和 2  | 5代佐賀平之丞生まれる。  |   |   | 蝦夷地和人人口21,561人(御巡見日誌)  |
| 1769 明和 6  |   |   |   | 松前藩、手間船による鯨取を禁止。ただし、乗替船なきに付この年のみ手間印をたてて鯨取に従事するを許す。                           |
| 1773 安永 2  |   |   |   | 松前藩、鯨さきり、鯨桁、鯨柱に檜の使用を禁止。  |
| 1776 安永 5  |   |   |   | 福山地方鯨凶漁となる。文政6年(1823)に回復。  |
| 1779 安永 8  | 3月28日3代佐賀平之丞死去。享年78歳。<br>工藤兵右衛門が茅部の漁民騒動にかかわり、ルルモッペ場所をめしあげられる。この後松前藩主の直領となる。                     |   |   |  |
| 1780 安永 9  |   |   |   | 西蝦夷地に天然痘が流行する。夷人死者644人。  |
| 1782 天明 2  |   |   |   | このころより江差地方鯨薄漁となる。文化4年(1807)に回復。  |
| 1787 天明 7  | 6代栖原角兵衛がルルモッペ場所の請負人となる。   |   |   |  |
| 1790 寛政 2  |   |   |   | 蝦夷地和人人口26,564人(松前東西管閣)   |
| 1792 寛政 4  | 西蝦夷地天売島で鯨取船沈没し、24人水死、和入1人他は駆りだされた山住アイヌであった。   |   |   | 鯨大網の使用禁止。  |
| 1793 寛政 5  |   |   |   | 雑魚漁のみに大網使用許可。  |
| 1794 寛政 6  |   |   |   | 石狩までの追鯨出漁1か年に限り許可。   |
| 1807 文化 4  | ルルモッペ場所を含む西蝦夷地幕府の直轄となる。   |   |   | この頃、セタナよりオタスツの間鯨不漁となる。   |
| 1808 文化 5  | ルルモッペ場所支配人山田文右衛門信砂越えて空知へでる山道25里を開削する。<br>下風呂佐賀屋、易国間の広谷が松前に鯨漁場を経営。出稼のため渡海切手を貰う。(「下北の海運と文化」鳴海健太郎) |   |   | 江差地方の鯨回復。<br>大網の使用禁止。(箆網)  |
| 1812 文化 9  | 7代佐賀清右衛門生まれる。   |   |   |  |
| 1815 文化 12 | 6代銀蔵死去。(大畑佐賀惣助の子。第7代目の妻の父)  |   |   |  |
| 1819 文政 2  | 9月4日4代佐賀平之丞死去。享年74歳。  |   |   |  |
| 1821 文政 4  | ルルモッペ場所を含む西蝦夷地は松前藩に復領する。  |   |   | 福山地方の鯨回復。  |
| 1823 文政 6  |   |   |   |  |
| 1826 文政 9  | 4月8日八代平之丞佐賀庄五郎の二男として生まれる。初め伊四郎と称す。<br>天保年間佐賀清右衛門福山に来る。  |   |   |  |
| 1828 文政 11 | 南部藩へ御用金15両。   |   |   | 松前藩、福山前浜鯨漁事中の配縄による雑魚漁禁止。   |
| 1830 天保元   | 西蝦夷地における鯨漁業への起網、引き網の使用及び鯨絞粕製造の取締りを求める願書が江差よりでる。   |   |   |  |
| 1831 天保 3  |   |   |   | 奥羽地方大飢饉。蝦夷地への移住者が増える。  |
| 1832 天保 4  |   |   |   | 鯨取揚高、福山市中の前浜並びに追鯨取揚高9万1480束、同東在6万3441束、同西在3万6984束、合計19万1905束。                |
| 1835 天保 6  | 佐賀家手船灘一丸(天当船)松前函館往復。(「天保4年水のと怨 巳年」佐賀家文書)  |   |   | 南部藩内分限受附で佐賀平之丞前頭にランク。<br>松前藩、追鯨の者が漁場行き、取鯨積取に用いる中渡船として代中遣船類似の船でもその船一代限り使用を許可。 |

| 暦年号       | で き こ と   |
|-----------|---|
| 1836 天保7  | <p>9月下風呂根津屋平之丞、御用金100両を南部藩より命ぜられ、家屋敷を売却しなければ納付できないと申出る。</p> <p>松前藩、出願するものあって、フトロ場所よりクトウ境迄を二八場所とす。</p>   |
| 1837 天保8  | <p>10月南部藩より問屋株をもらい南部藩御用達となる。</p>  |
| 1840 天保11 | <p>ハママシケ以北の出稼許可となる。(移住者が増加) 松前藩、追鯨の者へ中渡船として大中遺船の永久使用を許可。</p>  |
| 1841 天保12 | <p>江差市中並びに江差村在々の百姓一同の請願をいれ、冥加金の納入を条件に追鯨の者の中渡船として、200石迄の間尺中遺船の使用を許可。</p> <p>向地仕込船正式に認められる。</p>   |
| 1843 天保14 | <p>大網使用の再度禁止。</p>   |
| 1844 弘化元  | <p>卯十月鮭場仕込品調帳松前栖原から佐賀清右衛門殿へ</p> <p>八代佐賀平之丞松前唐津内澤田中藤左衛門の名儀で留萌礼受に漁場を開く。</p> <p>3月18日5代佐賀平之丞死去。(別家大畑佐賀平七の子)</p>  |
| 1847 弘化4  | <p>西蝦夷地請負人一同、大網の使用許可。(但し、差網の使用できない場所、もしくは追鯨業者が少なく濱中漁民と熟談のうえ異議のない場合に限る。)</p>   |
| 1848 嘉永元  | <p>下風呂村越年人別にルモッペに6人。佐賀家使用人として仁吉の名あり。(弘化四年越年人別帳)</p>   |
| 1849 嘉永2  | <p>申十月鮭場仕込物勘定帳松前栖原から佐賀伊四郎殿へ</p> <p>鮭場仕込物勘定帳</p> <p>一 平之丞 右者船問屋并網商売松前返天当船木綿瀬戸物阿ら物塩清酒引酒草りわらじ商内渡世罷在候 (当職面附帳 下風呂村)</p> <p>下風呂村57名中31人が松前出稼を仕事とする。(当職面附帳 下風呂村)</p>                   |
| 1850 嘉永3  | <p>鮭場仕込帳</p> <p>佐藤伊三右衛門歌棄で建て網を始める。これより西蝦夷地で建て網が急速に普及し始める。鯨粕の製造が鯨の加工製品の中で主力になっていく。</p>   |
| 1851 嘉永4  | <p>6月3日7代清右衛門死去。享年39歳。(大畑別家鶴松の子)</p>  |
| 1853 嘉永6  | <p>蝦夷地和人人口6万突破</p>  |
| 1854 安政元  | <p>佐賀平之丞灘一丸(天当船)をつくる。</p> <p>鮭取家数 三軒 此人別男八十五人 但当场所漁業中罷在候得共秋味に至り居村に被引取申候 (公儀御役人様方御通行に付書上書 栖原家旧記書類)</p> <p>出稼3軒で春鮭1,700石。運上屋分は940石計2,640石留萌鯨産高</p> <p>9月南部藩主上京のため、佐賀伊四郎50両献金。</p> |
| 1855 安政2  | <p>網切り騒動。</p> <p>再度大網使用の禁止。</p> <p>ルルモッペ場所を含む西蝦夷地は再び幕府の直轄となる。</p> <p>ルルモッペ場所は秋田藩の警衛地</p> <p>積丹半島神威岬以北への婦女子の通行許可。</p> <p>幕府蝦夷全島を再直轄</p> <p>出稼者 3軒115人。唐津内澤町藤左衛門 外雇36</p>         |



|           |  |  |
|-----------|--|--|
|           | <p>人(安政二卯年ソウヤ御詰合様へ書上下書)<br/> 唐津内町五三郎雇船頭久蔵外33人<br/> 泊川村久右衛門外雇人46人</p>   |  |
| 1856 安政 3 |  | <p>函館奉行、条件つきで鯨漁に大網を使用することを許可。<br/> 古平場所群木村番屋で秋元某杵網発明。<br/> 大網総数500統。</p> |
| 1857 安政 4 | <p>佐賀平之丞灘吉丸をつくる。<br/> ルヽモッペ鯨漁獲高 運上屋分2058.29石、出稼分3,402.84石 計5,461.13石<br/> 出稼人13軒110名、藤左衛門鯨場は26名(安政五年年村垣淡路守様御廻浦書上写 栖原家旧記書類)<br/> 箱館奉行この年より3～5年間鯨大網使用許可し、1統に付年3両を上納させる。</p>  |  |
| 1858 安政 5 | <p>ルヽモッペ鯨漁獲高 運上屋分2,998.065石、出稼分7,059.039石 計10,057.104石<br/> 出稼人16軒172名、藤左衛門鯨場は26名(安政五年年村垣淡路守様御廻浦書上写 栖原家旧記書類)</p>   |  |
| 1859 安政 6 | <p>ルルモッペ場所は庄内藩(酒井左衛門尉)の領地となる。<br/> このころ笊網から行成網への転換が加速する。<br/> 箱館奉行分領支配となっても、笊網、建網の使用を許可。<br/> 出稼家数 48軒 惣人数 男1,013人、女81人(栖原家旧記書類)</p>   |  |
| 1860 万延元  | <p>庄内藩はマサリベツの沢に出張陣屋を建て、藩士農民を移住させて、警衛開墾をおこなう。<br/> 大網使用の永久許可。<br/> この頃母屋建築家?(昭和15年8月31日提出家屋所有(異動)申告書)</p>   | <p>安政年間蝦夷地和人口8万6千余。</p>  |
| 1861 文久元  | <p>ルヽモッペ場所出産高12,755.9石<br/> ルヽモッペ出産高 運上屋分4,597.7909石、出稼分10,782.275石(但し鯨ばかり)、計15,379.818石(栖原家旧記書類)</p>  |  |
| 1862 文久 2 | <p>留萌出稼人 松前枝々崎町伝四郎外53軒<br/> ルヽモッペ場所出産高15,379.8184石<br/> ルヽモッペ領出稼越年者 171人、男136人女35人<br/> 唐津内澤町藤左衛門鯨場14人(文久二年ルヽモッペ領出稼越年人別書上 栖原家旧記書類)<br/> ルヽモッペ出産高12,679.2891石<br/> 鯨出産高 運上屋分2,336.1675石、出稼分9,014.155石 計11,350.3225石</p> |  |
| 1863 文久 3 | <p>ルヽモッペ建網73統、笊網11統。計84統。唐津内澤町藤左衛門 建網5統、笊網2統。計7統。(文久三年建網笊網員数 栖原家旧記書類)<br/> ルヽモッペ出産高 運上屋分2,372.18石、出稼分7,947.425石、計10,319.425石</p>   |  |
| 1864 元治元年 | <p>12月29日佐賀清太郎生まれる。易国間林幾治、佐賀平之丞長女いよの子<br/> 新島讓下風呂へ上陸し、佐賀家に宿泊。</p>  |  |
| 1865 慶應元  |  | <p>西在より蝦夷地へ鯨取出稼の者(二八取)、取揚鯨運送船として5人乗(450石)まで許可。</p>                       |
| 1866 慶應 2 | <p>佐賀平之丞、南部藩領田名部(目名新田)の開拓のため花巻より土工50人を雇用する。</p>  |  |

| 曆年号       | で き こ と   |
|-----------|---|
| 1867 慶応3  | 王政復古<br>ルヽモッベ場所出稼家数 54軒、男1264人、女100人、計1364人(慶應三卯年七月八日御組頭山崎惣三郎様同手附塚本讓治郎様御廻浦 諸書上之下書 栖原家旧記書類)<br>ルヽモッベ出産高見込 鯨2,500石、昆布500石、煎海鼠6,360斤、秋味3,000石、鯨12,00石(出稼分)<br>佐賀平之丞、南部藩領九戸郡より農家8戸(35人)を田名部開拓地に移住させる。<br>南部藩公上京につき、田名部通へ御用金1,200両命令。このうち下風呂根津屋160両。 |
| 1868 明治元  | 留萌地方鯨不漁<br>ルヽモッベ出産物凡高(慶應4年「覚」栖原家旧記書類写)<br>鯨2,500石、昆布300石、塩鱒200石、秋味2,000石(運上屋分)<br>鯨7,500石(出稼分)  |
| 1869 明治2  | 開拓使設置し、蝦夷地を北海道と改める。<br>開拓使場所請負人を廃止し、漁場持ちと改める。   |
| 1870 明治3  | 佐賀平之丞下北風間浦村赤川の北岸に長屋数軒を建て斗南藩に献納する。   |
| 1871 明治4  | 栖原家漁場持ちとして漁場経営を行う。<br>開拓使、西部11郡の鯨漁業資金借用出願者に総額1万6,900両を貸与。   |
| 1874 明治7  | 3月19日下風呂村大火、60(84)戸焼失。佐賀平之丞被災者一同へ玄米90俵と粟10俵を供出。<br>開拓使、外務省との協議、凜裁をへて、北海道諸島沿海漁猟取締心得3ヵ条制定。<br>開拓使、全道各漁場ならびに昆布漁場自費新開の分は5か年間免税とする旨布達。<br>漁場持ち廃止。鯨漁場開放され営業は自由となり、着業数は急激に増加。  |
| 1876 明治9  | 栖原家漁場持ちを免ぜられ、翌年から漁場を借りて経営する。<br>太政官、北海道漁猟取締規則3ヵ条を定める。   |
| 1877 明治10 | 新規漁業を開始、漁場借受者は礼受31、留萌30、三泊51の計112ヶ統に及ぶ。   |
| 1878 明治11 | 留萌郡鯨漁獲高2万5千石。   |
| 1881 明治14 | 栖原家増毛の伊達漁場を譲り受け経営。  |
| 1882 明治15 | 開拓使を廃し、札幌、函館、根室の3県を置く。  |
| 1885 明治18 | 後志国積丹郡斎藤彦三郎により角網が発明される。<br>佐賀平之丞函館より種芋を取り寄せ村民に分け与える。  |
| 1886 明治19 | 3県1局を廃し、北海道庁を置く。<br>留萌水産組合を設立する。<br>9月10日鯨建網増加の儀に付願<br>礼受村12番地地先<br>3月9日北海道庁、肥料魚粕荷造法を定め、1俵を正味20貫目とし、縄漚の用法を規定。<br>10月15日函館で北海道物産共進会を開く。<br>11月24日、漁業組合準則を管内に布達。  |
| 1887 明治20 | 1月1日留萌郡留萌村・三泊村・礼受村漁業組合設立<br>3月31日北海道水産税則公布。<br>5月2日水産物営業者組合規則公布。  |

7月25日札幌で北海道物産共進会を開く。

9月7日鯉建網増加の儀に付願  
 礼受村12番地地先  
 刺し網業者36人。300放。  
 明治20年留萌郡鯉漁獲高 16,297.801石 90,360.1  
 28円  
 建網1統新規設備に要する資金  
 行成網 2,297.726円  
 建網1統継続に要する資金  
 行成網 746円  
 佐賀家鯉建網  
     佐賀庄四郎名義 2統  
     佐賀庄五郎名義 1統  
     佐賀福治名義 1統  
 鮭建網  
     佐賀庄四郎名義 2統  
 鱒建網  
     佐賀庄四郎名義 2統  
 明治20年鯉建網数 36統 21人  
     鮭角網 6統 1人  
     行成網 6統 2人  
     鱒行成網 6統 2人  
     鯉刺網数 615放 36人

1888 明治21

北海道庁漁場実測に着手。完成は明治35年。

佐賀平之丞、留萌郡留萌村に11戸を移住させ、農業に従事させる。  
 11代佐賀伊四郎生まれる。  
 12月28日東第16号許可。  
 1月25日付鯉建網増加願(礼受村10番地先、13番地先2統)12月28日許可。

全道刺網数16万5千放。

3月19日北海道水産物取締規則公布。(1897.11.18廃止)

北海道庁、魚粕製造改良のため米国製手動水圧器を購入し、また魚油魚臘製造器械ならびに巾着網を米国製にならって作成し試験。

1889 明治22

8月28日鯉漁業製造兼業許可。東第50号エンルムカ地先海面(佐賀庄五郎)

5月6日水産物現品税廃止後、水産製造物粗製につき取締りを諭達。

北海道庁、技手ならびに助手2人で北海道水産予察調査を開始。

北海道庁、全道漁場調査終了。

1890 明治23

角網使用許可。  
 11月22日鱒漁業願(佐賀庄五郎名義鱒鮭第1号定置)  
 12月16日鮭漁業願(佐賀庄五郎鮭第1号定置)  
 北海道庁全道沿岸を4区に分け、1区より全道水産調査着手。

1891 明治24

10月10日鯉漁業製造兼業許可。東第125号(礼受村18番地先)佐賀佐賀平之丞  
 明治24年11月留萌郡礼受村漁場台帳  
 東第1号明治22年4月20日許可佐賀庄五郎  
 東第2号明治18年4月22日許可佐賀庄五郎  
 東第122号明治24年10月10日許可佐賀庄五郎  
 東第8号明治18年11月11日許可佐賀庄四郎

- 東第10号明治以前許可佐賀平之丞  
 東第11号明治以前許可佐賀平之丞  
 東第15号明治以前許可佐賀平之丞  
 東第16号未済佐賀平之丞  
 東第17号明治以前許可佐賀平之丞  
 東第18号未済佐賀平之丞  
 東第19号明治以前許可佐賀平之丞  
 4月4日鯨漁業製造兼業願 4月21日許可  
 6月29日鯨漁業製造兼業願  
 8月7日鯨漁業製造兼業願  
 9月13日鯨漁業製造兼業願  
 11月7日鯨漁業製造兼業願
- 1892 明治25 4月8日着業届  
 東第15号、東第17号、東第1号、東第11号、  
 8月1日札幌にて北海道物産共進会を開催。
- 1893 明治26 2月27日着業届。東第15号、東第17号、東第16号、  
 東第18号、東第19号、東第124号、東第79号、東第80号、外留萌村1統。計9統。  
 3月16日佐賀漁場での鯨角網使用願(東第16号)を出し、3月21日許可。但し1か年。  
 3月18日鯨角網使用願東第16号(明治21年12月28日許可場所)3月23日許可。  
 3月30日鯨建網方位変更願東第19号。  
 4月9日鯨漁業製造兼業願。  
 7月24日佐賀平之丞死去。享年68歳。(佐賀庄五郎の2男、初め伊四郎と称す)  
 4月17日鯨漁業製造兼業願元場。(礼受村13番地地先海面東第15号の1)4月29日許可。  
 8月6日鯨漁業製造兼業願(東第124号)10月10日許可  
 12月5日代替御届(相続による建網場許可)
- 東第10号明治以前許可  
 東第11号明治以前許可  
 東第15号明治以前許可  
 東第16号明治21年12月28日許可  
 東第17号明治以前許可  
 東第18号明治21年12月28日許可  
 東第19号明治以前許可  
 東第124号明治24年10月10日許可  
 東第125号明治24年10月10日許可  
 東第15号の1 明治26年4月29日許可  
 東第79号明治以前許可  
 東第80号明治23年5月26日許可
- |     |             |             |
|-----|-------------|-------------|
| 絞め粕 | 2,131.48 石  | 15,462.426円 |
| 笹目  | 27本(3.24石)  | 72.67 円     |
| 胴練  | 744束(37.2石) | 200.88 円    |
| 白子  | 18本(11.04石) | 63.383円     |
| 数の子 | 16本(9.6石)   | 60.458円     |
| 身欠  |             | 68.300円     |
| 魚油  | 206個        | 185.400円    |
- 1894 明治27 栖原漁場を三井物産に移し、三井物産留萌支店が漁場経営を行う。  
 1月27日遺産相続名義書替御届  
 2月27日遺産相続に付鑑札書替願  
 3月1日寄留届121名。

1895 明治28

3月28日鯨角網使用願(東第16号)

4月1日着業届。東第15、16、17、15の1号、東第18、19、124号東第11号、125号、第39号、第79、80号計12統。

4月5日鯨漁業製造兼業願(鯨刺網)佐賀佐介

|     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 絞め粕 | 1,285.7047石 | 9,671.963円 |
| 数の子 | 3.23石       | 103.194円   |
| 白子  | 10.2425石    | 77.843円    |
| 笹目  | 18.4石       | 86.940円    |
| 胴鯨  | 48.815石     | 273.364円   |
| 身欠  | 79本         | 173.800円   |
| 魚油  | 151個        | 181.200円   |

鯨刺し網業者210名。2500放。

4月1日着業届東第15号、東第16号、東第15号の1、東第17号、東第18号、東第19号、東第124号、東第79号、東第80号、東代10号、東第11号、東第125号、東第39号計12統。

7月1日漁場台帳

東第10号 礼受村 建網 明治以前許可  
明治21年5月測定  
31年4月1日角網に変更。

東第125号 礼受村 建網 24年10月10日許可  
36年3月1日廃業。

東第11号 礼受村 建網 明治以前許可  
明治21年5月測定

東第15号 礼受村 建網 明治以前許可  
明治21年5月測定  
明治31年角網に変更許可。

東第15号の1 礼受村 建網 明治26年4月29日許可  
明治31年4月1日廃業

東第16号 礼受村 建網 明治21年12月28日許可  
明治32年3月24日起点を移して許可。

東第17号 礼受村 建網 明治以前許可  
明治21年5月測定  
31年4月5日角網に変更許可。

東第18号 礼受村 建網 明治21年12月28日許可  
31年4月1日廃業。

東第19号 礼受村 建網 明治以前許可  
明治21年5月測定  
32年3月27日角網に変更許可。

東第124号 礼受村 建網 明治24年10月10日許可

東第79号 三泊村 建網 明治以前許可  
明治21年5月測定

東第80号 三泊村 建網 明治23年4月28日許可  
佐賀徳治分

東第39号 留萌村 建網 明治14年7月20日許可  
八谷理兵衛分

東223号 三泊村 建網 明治29年9月23日許可

東第72号 留萌村 建網 明治25年9月5日許可  
宮川分明治32年1月11日佐賀徳治許可

2月28日漁業報告令を定め、毎年度漁業組合より提出させる。

3月6日江差米穀練取引所設立。  
4月3日鯨、鮭、鱈建網ならびに角網漁業の制限を定める。(1897.12.25廃止)

9月11日三井物産会社、営業目的中に「北海道漁業」を追加(栖原角兵衛所有の漁場経営を三井物産に委託)(1907.1.15「北海道漁業」削除)

10月28日札幌に全道漁業者大会を開催し、600人の連署で特別漁業法案を農商省に提出決議。  
漁網の増加により漁場紛争が激しいため、北海道庁再び漁場実測開始。

|     |              |             |
|-----|--------------|-------------|
| 絞め粕 | 2,412.581石   | 12,247,356円 |
| 笹目  | 9.1石         | 89,770円     |
| 胴鯨  | 52.5石(1050本) | 304,500円    |
| 白子  | 9,466石       | 75,246円     |
| 数の子 | 9,745石(21本)  | 77,492円     |
| 身欠  | 70本          | 175,000円    |
| 魚油  | 198個         | 198,000円    |

1896 明治29

3月9日休業御届  
東第15号の1、東第17号  
佐賀平之丞から清太郎へ鯨定置漁業権相続。4月24日  
3月8日鯨角網使用願(東第16号)を出し、3月11日許可。  
3月8日鯨角網使用願(東第10号明治以前許可)を出し、3月21日許可。  
3月19日休業御届  
東第10号、第11号、第125号。  
4月4日、着業届  
東第10号、第125号、第16号(以上角網)東第16号、第15号、第18号、第19号第124号、第39号、第79号、第80号(以上行成網)  
7月22日鯨漁業製造兼業願(三泊村東第223号)を提出。9月23日許可。  
11月5日鯨建網3ヶ統を休業し角網1統(東第11号と12号の間)を試用漁業願30年3月12日許可。  
12月20日鯨建網3ヶ統(東第18号、第19号、20号)を休業し角網1統(東第19号と20号の間)を試用漁業願30年3月12日許可。  
全道刺網数52万2千放。  
佐賀清太郎青森県会議員に当選。34年まで。

|     |             |             |
|-----|-------------|-------------|
| 絞め粕 | 1,021.4996石 | 10,945,867円 |
| 白子  | 11.84石      | 117,215円    |
| 数の子 | 12,1225石    | 120,011円    |
| 身欠  | 96本         | 336,000円    |
| 笹目  | 20.11石      | 120,660円    |
| 胴鯨  | 62.1石       | 456,433円    |
| 魚油  | 77個         | 150,150円    |
| 鯨粕  | 3.995石      | 35,995円     |

1897 明治30

7月1日漁業組合を水産組合と改める。

11月18日北海道漁業取締規則(1902年廃止)ならびに鯨建網入会漁業取締規則(1902年廃止)公布。翌年1月1日施行。  
12月28日鯨・鯨・鯨・鯨・鯨建網漁業願の制限を定める。翌年1月1日施行。

|     |               |             |
|-----|---------------|-------------|
| 絞め粕 | 1,916.045825石 | 19,740,621円 |
| 笹目  | 18.7225石      | 128,757円    |
| 白子  | 15.26石        | 180,068円    |
| 数の子 | 12.73石        | 150,214円    |

1898 明治31

胴鯨 10.07 石 528.758円  
 魚油 264.5個 304.225円  
 身欠 95本 456.250円  
 留萌漁業組合、鯨刺し網を8500放に制限。  
 4月1日着業届  
 東第11号、第12号、第19号、第20号(角網)  
 東第17号、第21号、第22号、第23号、第61号、第71号、第120号、第121号(行成網)  
 4月5日東第17号を行成網を角網に変更許可。  
 4月5日東第19号を行成網を角網に変更許可。1年間試用。  
 4月28日東第11号を行成網を角網に変更許可。  
 5月18日第2会水産博覧会に鯨搾粕、鯨、鯨油出品  
 11月29日廃業届 東第72号 宮川吉之丞名義。同日佐賀徳治名義で出願。

|     |            |            |
|-----|------------|------------|
| 絞め粕 | 656.6095石  | 7,571.747円 |
| 笹目  | 22.8275石   | 185.326円   |
| 白子  | 16.145 石   | 177.468円   |
| 数の子 | 17本(2.04石) | 171.720円   |
| 胴鯨  | 85.055 石   | 808.022円   |
| 身欠  | 116本       | 395.800円   |
| 魚油  | 80.5個      | 108.675円   |

1899 明治32

1月11日東第72号を行成網を角網に変更許可。  
 3月27日東第19号を行成網を角網に変更許可。  
 (3月24日変更願)  
 4月1日改鯨定置漁場  
 東第11号 永久角網 カネダイ  
 東第12号 廃業  
 東第13号 行成網 カネダイ  
 東第17号 永久角網 元場小網  
 東第18号 廃業  
 東第19号 永久角網 元場中網  
 東第20号 行成網 元場大網  
 東第21号 行成網 マルダイ新場  
 東第22号 一期角網 マルダイ大網  
 東第23号 一期休業  
 東第61号 八谷  
 東第79号 木村行成網 三泊村  
 東第120号 ウスヤ岡 三泊村  
 東第121号 ウスヤ沖 三泊村  
 東第72号 佐賀徳治 留萌村  
 4月2日東第23号休業届  
 4月2日着業届 東第11号、東第13号、東第17号、東第19号、東第20号、東第21号、東第22号、東第72号、東第79号、東第120号、東第121号  
 4月5日東第22号を行成網を角網に変更許可。(4月2日変更願)  
 4月7日刺網着業届(佐賀清太郎名義)  
 4月16日鯨漁業願東第61号八谷理兵衛名義  
 漁夫135名

|     |          |            |
|-----|----------|------------|
| 絞め粕 | 792.535石 | 9,075.101円 |
| 笹目  | 21.186石  | 140.884円   |
| 白子  | 17.23 石  | 206.280円   |
| 胴鯨  | 84.745石  | 679.000円   |
| 数の子 | 28.5本    | 244.680円   |

|     |         |
|-----|---------|
| 曆年号 | で き こ と |
|-----|---------|

|                       |         |          |     |     |
|-----------------------|---------|----------|-----|-----|
| 数の子                   | 28.5本   | 244.680円 |     |     |
| 身欠                    | 152本43把 | 507.534円 |     |     |
| 魚油                    | 92個     | 138.000円 |     |     |
| 明治32年建網数及び明治21年からの廃業数 |         |          |     |     |
|                       | 行成網     | 角網       | 合計  | 廃業数 |
| 礼受村                   | 20      | 6        | 26  | 14  |
| 留萌村                   | 14      | 3        | 17  | 14  |
| 三泊村                   | 66      | 5        | 73  | 22  |
| 計                     | 102     | 14       | 116 | 50  |

1900 明治33

3月30日東第20号東第21号を行成網を角網に変更許可。1年間試用。  
 3月24日東第23号休業届  
 3月28日第20号、第21号角網一期試用願(3月30日許可)  
 4月1日着業届 第11号、第13号、第17号、第19号、第22号、漁夫95人  
 第79号、第120号、第121号、漁夫48人 第72号(佐賀徳治名義)漁夫15人  
 4月2日着業届 第20号、第21号、漁夫40人  
 4月20日東第61号(八谷理兵衛名義)角網一期使用願  
 4月29日東第23号廃業届  
 6月1日東第22号を行成網を角網に変更許可。(4月30日出願)  
 6月29日東第20号東第21号を行成網を角網に変更許可。(6月16日出願)

|     |               |             |
|-----|---------------|-------------|
| 絞め粕 | 1,865.3612石   | 22,435.720円 |
| 笹目  | 20.959石       | 152.723円    |
| 胴鯨  | 1,614束(80.7石) | 863.550円    |
| 白子  | 15.816石       | 205.606円    |
| 数の子 | 12.2136石      | 170.988円    |
| 身欠  | 147本13把       | 743.050円    |
| 魚油  | 381.5個        | 763.000円    |

1901 明治34

4月13日漁業法公布

4月1日着業届(佐賀清太部分)  
 留萌郡三泊村東第79号建網場  
 留萌郡三泊村東第120号建網場  
 留萌郡三泊村東第121号建網場  
 留萌郡礼受村東第11号角網場  
 留萌郡礼受村東第13号建網場  
 留萌郡礼受村東第17号角網場  
 留萌郡礼受村東第19号角網場  
 留萌郡礼受村東第20号角網場  
 留萌郡礼受村東第21号角網場  
 留萌郡礼受村東第22号角網場  
 留萌郡礼受留萌三泊沿海鯨刺網20放(明治31年4月22日許可)  
 4月1日着業届(佐賀徳治分)  
 留萌郡留萌村東第72号建網場

1月4日北海道鯨保護規則を定める。(1903年3月廃止)  
 4月18日北海道水産税区区域名称を定める。  
 12月11日肥料取締法施行手続を定める。

|     |             |             |
|-----|-------------|-------------|
| 絞め粕 | 1,336.6894石 | 23,466.257円 |
| 笹目  | 20.63石      | 148.536円    |
| 胴鯨  | 1,701束      | 765.450円    |



|     |   |   |    |
|-----|---|---|----|
| 曆年号 | で | き | こと |
|-----|---|---|----|

|           |  |
|-----------|--|
| 1902 明治35 | <p>白子 12,495 石 156,182円</p> <p>数の子 12,2136 石 170,988円</p> <p>身欠 127本48把 554,730円</p> <p>魚油 427個 1,163,400円</p> <p>4月1日着業届</p> <p>留萌郡礼受村東第11号角網場明治31年4月28日許可</p> <p>留萌郡礼受村東第13号建網場明治以前許可</p> <p>留萌郡礼受村東第17号角網場明治31年4月5日許可</p> <p>留萌郡礼受村東第19号角網場明治32年3月27日許可</p> <p>留萌郡礼受村東第20号角網場明治33年6月29日許可</p> <p>留萌郡礼受村東第21号角網場明治33年6月29日許可</p> <p>留萌郡礼受村東第22号角網場明治33年6月1日許可</p> <p>留萌郡留萌村東第72号建網場明治32年1月11日許可<br/>(佐賀徳治)</p> <p>留萌郡三泊村東第79号建網場明治29年9月23日許可</p> <p>留萌郡三泊村東第120号建網場明治以前許可</p> <p>留萌郡三泊村東第121号建網場明治23年4月28日許可</p> <p>留萌郡礼受留萌三泊沿海鯨刺網20放明治31年4月22日許可</p> <p>5月8日肥料製造販売免許許可(佐賀清太郎)</p> <p>2月18日肥料製造販売免許許可(佐賀徳治)</p> <p>2月28日肥料製造販売免許許可(佐賀福治)</p> <p>6月28日東第42号行成網許可(佐賀徳治)</p> <p>9月4日肥料製造販売免許許可(佐賀徳治)</p> <p>7月1日留東定第2号行成網免許許可(佐賀徳治)</p> <p>10月25日定置漁業免許期間指定申請</p> <p>留萌郡三泊村沿海東第79号鯨漁場佐賀清太郎名義行成網</p> <p>留萌郡留萌村沿海東第72号鯨漁場佐賀徳治名義行成網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第21号鯨漁場佐賀清太郎名義角網</p> <p>留萌郡三泊村沿海東第121号鯨漁場佐賀清太郎名義行成網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第42号鯨漁場佐賀徳治名義行成網</p> <p>留萌郡三泊村沿海東第120号鯨漁場佐賀清太郎名義行成網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第22号鯨漁場佐賀清太郎名義角網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第13号鯨漁場佐賀清太郎名義行成網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第19号鯨漁場佐賀清太郎名義角網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第20号鯨漁場佐賀清太郎名義角網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第11号鯨漁場佐賀清太郎名義角網</p> <p>留萌郡礼受村沿海東第17号鯨漁場佐賀清太郎名義角網</p> <p>内国勸業博覧会に鯨粕及び鯨鱈出品(解説書)</p> <p>明治35年度肥料製造販売高(明治36年1月15日届出)</p> <p>鯨粕 104,963,490 貫 31,444,369円</p> |
|-----------|--|

|     |         |
|-----|---------|
| 曆年号 | で き こ と |
|-----|---------|

|     |            |          |
|-----|------------|----------|
| 鯨白子 | 554.200貫   | 180.115円 |
| 鯨笹目 | 1,001.600貫 | 196.564円 |
| 胴鯨  | 3,700.000貫 | 957.375円 |

6月21日水産組合施行手続公布。  
 6月28日漁業法施行細則ならびに、新たに北海道漁業取締規則公布。(1903年3月25日廃止)  
 11月21日漁業組合規則施行細則公布。  
 12月17日北海道水産物収獲審査会規程を定める。  
 12月21日青森県、北海道出稼人証明規則を公布。

|     |                 |             |
|-----|-----------------|-------------|
| 絞め粕 | 2,671.108石      | 28,175.463円 |
| 笹目  | 24.8215石        | 194.894円    |
| 胴鯨  | 1,850束(90.332石) | 884.688円    |
| 白子  | 13.855石         | 180.757円    |
| 数の子 | 15.735石         | 242.319円    |
| 身欠  | 137本34把         | 654.951円    |
| 魚油  | 547個            | 1,644.975円  |

1903 明治36

ブローチ(ノルウェー)が鯨の鱗紋から年齢がわかると発表。

4月9日漁業権抛棄届(明治35年7月1日免許留東定第4号留萌郡留萌村沿海東第42号鯨行成網漁場佐賀徳治)

留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 角網

留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号漁業権

4月6日許可佐賀徳治 行成網

留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号漁業権

4月25日許可佐賀徳治 角網

留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 行成網

留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 角網

留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 角網

留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 角網

留萌郡三泊村沿海東第13号留東定第5号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 行成網

留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 行成網

留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 角網

留萌郡三泊村沿海東第79号留東定第3号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 行成網

留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号漁業権

4月6日許可佐賀清太郎 角網

寄留漁夫164名。

佐賀漁場生産高(7月25日水産組合へ報告)

|     |            |     |         |
|-----|------------|-----|---------|
| 鯨搾粕 | 2,093.889石 | 身欠鯨 | 28.437石 |
| 鯨油  | 81.62石     | 胴鯨  | 55.755石 |
| 笹目  | 14.252石    | 白子  | 9.234石  |
| 鯨   | 11.039石    |     |         |

1月23日水産業補助規程公布。

3月25日新たに北海道漁業取締規則を制定。

|     |            |             |
|-----|------------|-------------|
| 絞め粕 | 2,976.397石 | 33,782.113円 |
| 笹目  | 20.355石    | 124.363円    |

|     |         |
|-----|---------|
| 曆年号 | で き こ と |
|-----|---------|

|     |         |            |
|-----|---------|------------|
| 胴鯨  | 1,578束  | 637,359円   |
| 白子  | 9.415石  | 120,908円   |
| 数の子 | 15.77石  | 294,089円   |
| 身欠  | 125本 8把 | 336,381円   |
| 魚油  | 568.5個  | 1,805,500円 |

北海道庁刺し網を無制限に許可。

明治36年建網数及び明治33年からの廃業数

|     | 行成網 | 角網 | 合計  | 廃業数 |
|-----|-----|----|-----|-----|
| 礼受村 | 9   | 25 | 34  | 10  |
| 留萌村 | 8   | 8  | 16  | 12  |
| 三泊村 | 32  | 48 | 80  | 11  |
| 計   | 49  | 81 | 130 | 33  |

1904 明治37

4月着業届

留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)福原宗太郎貸賃10石

留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)井口乙二郎貸賃45石(50円)

留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許

留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許

寄留漁夫167名。

佐賀漁場生産高(8月10日水産組合へ報告)

|     |            |             |
|-----|------------|-------------|
| 鯨粕  | 1,872.372石 | 26,793.478円 |
| 鯨油  | 1,080罐     |             |
| 身欠鯨 | 111俵       | 566.1円      |
| 胴鯨  | 77.35石     | 893.392円    |
| 白子  | 14.485石    |             |
| 数の子 | 14.5925石   |             |
| 笹目  | 22.5425石   | 193,865円    |

明治37年度肥料製造販売高(明治38年1月15日付道庁長官宛)

|      |             |    |              |
|------|-------------|----|--------------|
| 鯨搾粕  | 74,889貫288匁 | 代金 | 26,793円47銭8厘 |
| 二ツ割鯨 | 111俵        | 代金 | 566円40銭      |
| 鯨笹目  | 901貫700匁    | 代金 | 193円86銭5厘    |
| 胴鯨   | 3,094貫      | 代金 | 893円39銭2厘    |
| 鯨白子  | 579貫400匁    | 代金 | 224円51銭7厘    |



|     |                 |             |
|-----|-----------------|-------------|
| 絞め粕 | 1,776.8273石     | 28,773.560円 |
| 笹目  | 19.9 石          | 224.510円    |
| 胴鯨  | 1,403束(68,693石) | 893.392円    |
| 白子  | 9.97 石          | 159.520円    |
| 数の子 | 11.13           | 247.070円    |
| 身欠  | 97本             | 582.000円    |
| 魚油  | 399.5個          | 856.870円    |

1906 明治39

以後奥尻島に來遊途絶。

4月5日着業届  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許 弘瀬金兵衛貸貸50円  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)渡辺徳松貸貸50円  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 6月18日佐賀清太郎小平薬原野へ自費で道路橋梁を  
 新設する件許可  
 明治39年度肥料製造販売高(明治40年1月付道庁長  
 官宛)  
 鯨粕 27,694貫414匁 代金 11,521円24銭  
 鯨白子 338貫800匁 代金 137円20銭  
 鯨笹目 713貫400匁 代金 201円51銭  
 胴鯨 2,246貫480匁 代金 741円32銭  
 明治39年度水産物収獲并に製造高届(明治40年1月  
 留萌村三泊村組合長宛)  
 鯨粕 27,694貫414匁  
 身欠鯨 1,110俵  
 笹目 713貫400匁  
 鯨 309貫  
 胴鯨 2,246貫480匁  
 白子 338貫800匁  
 寄留漁夫164名。

10月三井物産栖原角兵衛より譲渡を受けた留萌、択  
 捉の漁場権を同人に返却する。

|     |                 |             |
|-----|-----------------|-------------|
| 絞め粕 | 703.9948石       | 11,521.240円 |
| 笹目  | 17.835 石        | 201.510円    |
| 胴鯨  | 1,145束(56,162石) | 741.320円    |

| 暦年号 | で | き | こ | と |
|-----|---|---|---|---|
|-----|---|---|---|---|

|     |        |          |
|-----|--------|----------|
| 白子  | 8.47石  | 137,200円 |
| 数の子 | 7.725石 | 213,200円 |
| 身欠  | 63俵24把 | 440,000円 |
| 魚油  | 232.5個 | 476,610円 |

鯨刺し網数26,200放。

1907 明治40

4月着業届  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許 渡辺徳松貸賃60円  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 三井物産留萌支店を廃止、園田商会在が漁場経営。  
 留萌漁業組合が設立される。  
 10月4日佐賀清太郎、佐賀徳治留萌漁業組合に入会。  
 坂内深七が臼谷の入会漁場を鯨の天然孵化場とすることを提案。  
 寄留漁夫178名。

佐賀清太郎下北銀行の設立に参加。昭和4年五十九銀行と合併。

40年度肥料生産高

|      |          |
|------|----------|
| 鯨絞め粕 | 891.936石 |
| 笹目   | 18.115石  |
| 白子   | 12.07石   |
| 胴鯨   | 44.031石  |

鯨刺し網数32,500放。

1908 明治41

4月9日鯨待網漁業願  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網

留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号練行成網  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 4月9日着業届  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号練行成網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 寄留漁夫160名  
 明治41年肥料製造販売高届佐賀清太郎分(明治42年  
 3月19日付)  

|     |       |        |
|-----|-------|--------|
| 練ノ粕 | 3,048 | 3,962円 |
| 胴練  | 2,580 | 774円   |
| 白子  | 345   | 86円    |
| 笹目  | 391   | 87円    |

 明治41年肥料製造販売高届佐賀徳治分(明治42年3  
 月19日付)  

|     |       |      |
|-----|-------|------|
| 練ノ粕 | 2,000 | 650円 |
| 胴練  | 300   | 90円  |
| 白子  | 46    | 12円  |
| 笹目  | 60    | 13円  |

 3月9日9代幾治(易国間林清助の2男10代清太郎  
 の父)死去。行年65歳。  
 8月11日北海道水産共進会を小樽で開催。  
 5月25日 練絞め粕291.492石(肥料製造帳記入あ  
 り)  
 練刺し網数27,000放に減少。  
 4月8日着業届  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 明治35年7月1日免許

1909 明治42

留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 5月1日肥料製造営業許可。佐賀清太郎、佐賀徳治  
 5月20日 鯨絞め粕 343.944石(肥料製造帳に記載)

寄留漁夫105名。

|      |           |           |
|------|-----------|-----------|
| 絞め粕  | 334.2281石 | 1,948.66円 |
| 笹目   | 4.935石    | 49.35円    |
| 胴鯨   | 14.25石    | 185.25円   |
| 身欠   | 19束11把    | 149.96円   |
| 数の子  | 2.34石     | 76.05円    |
| 白子   | 1.625石    | 24.37円    |
| 魚油   | 67.5個     | 209.25円   |
| 鯨刺し網 | 数26,000放。 |           |

1910 明治43

北海道水産試験場鯨の鱗相の研究始める。  
 4月21日改正漁業法公布。1911年4月1日施行。  
 4月22日水産物製造取締規則公布。8月1日施行。  
 3月31日着業届

留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網



明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 寄留漁夫100名。  
 5月22日 練絞め粕 135.084石(肥料製造帳に記載あり)  
 絞め粕 134.522石 2,259.97円  
 胴練 772束(37.6952石) 926.99円  
 身欠 65俵10把 355.50円  
 白子 3.865石 90.65円  
 魚油 41個 143.50円  
 数の子 10俵

11月13日留萌～深川間鉄道開通。  
 北海道庁、継続許可の他は練刺し網の増加を許可せず。

1911 明治44

3月31日漁場休業届  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第72号留東定第2号練行成網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 3月31日着業届  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号練行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号練角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 寄留漁夫100名。  
 5月22日 練絞め粕 1,120.979石(肥料製造帳に記載あり)  
 3月30日漁業組合令施行細則公布。  
 絞め粕 1,230.3069石 18,921.94円  
 笹目 10.375石 126.57円  
 白子 5.12石 81.52円  
 数の子 5.04石 124.94円  
 魚油 348個 1,510.02円

1912 明治45  
 大正元

3月31日着業届  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号練角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号練行成網  
 明治35年7月1日免許



|     |        |         |
|-----|--------|---------|
| 白子  | 2,225石 | 37.82円  |
| 数の子 | 2,795石 | 78.33円  |
| 魚油  | 171個   | 530.10円 |

鯨刺し網数22097放。

明治45年建網数及び明治36年からの廃業数

|     | 行成網 | 角網 | 合計  | 廃業数 |
|-----|-----|----|-----|-----|
| 礼受村 | 6   | 26 | 32  | 12  |
| 留萌村 | 4   | 12 | 16  | 23  |
| 三泊村 | 14  | 41 | 55  | 51  |
| 計   | 24  | 79 | 108 | 86  |

1913 大正2

4月7日着業届

留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網

明治35年7月1日免許(佐賀徳治)

4月7日鯨待網漁業願

留東定第12号免許留萌郡礼受村沿海東第20号

11月22日鯨待網漁業廃業届10ヶ統一分

5月20日 鯨絞め粕 1,489.006石 (肥料製造帳に記載あり)

寄留漁夫119名。

|     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 絞め粕 | 1,916.1066石 | 30,724.65円 |
|-----|-------------|------------|

|    |        |        |
|----|--------|--------|
| 笹目 | 5.325石 | 58.32円 |
|----|--------|--------|

|    |              |         |
|----|--------------|---------|
| 胴鯨 | 461束(23.05石) | 311.77円 |
|----|--------------|---------|

|    |         |       |
|----|---------|-------|
| 白子 | 2,8825石 | 54.12 |
|----|---------|-------|

|    |       |         |
|----|-------|---------|
| 身欠 | 43俵4把 | 143.75円 |
|----|-------|---------|

|     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 数の子 | 3,225石 | 98.35円 |
|-----|--------|--------|

|    |      |           |
|----|------|-----------|
| 魚油 | 367個 | 1,155.65円 |
|----|------|-----------|

1914 大正3

4月4日着業届

留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第8号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網

明治35年7月1日免許

ヨルト(ノルウェー鯨に卓越年級群が存在することと、それが資源の支えであることを指摘。)

留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第7号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 4月4日鯨待網漁業願  
 留東定第12号免許留萌郡礼受村沿海東第20号  
 5月25日 鯨絞め粕 738.738石  
 5月27日 385.055石 計 1,123,793石  
 寄留漁夫125名  
 9月7日増毛支庁を留萌支庁と改称し、留萌町に移  
 転。

忍路郡桃内村で鯨漁業の共同経営を試験実施。

|     |            |            |
|-----|------------|------------|
| 絞め粕 | 742.27025石 | 12,337.19円 |
| 笹目  | 32.65 石    | 21.40円     |
| 胴鯨  | 158束(7.9石) | 94.91円     |
| 身欠  | 13俵        | 55.25円     |
| 数の子 | 1.16 石     | 35.94円     |
| 白子  | 1.71 石     | 26.99円     |
| 魚油  | 170個       | 688.50円    |

1915 大正4

3月31日北海道漁業取締規則改正

4月4日着業届  
 留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第2号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第8号鯨角網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
 明治35年7月1日免許  
 留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
 明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
 11月定置漁業権抛棄届及び漁業権抹消登録申請提出  
 (冲出延長出願)  
 留鯨定第3号、第7号、第8号、第9号、第10号、  
 第11号、第12号、第13号。

11月定置漁業免許願提出(沖出延長出願)

7ヶ統

鯨絞め粕 5月23日 508,333石

5月24日 436,162石

寄留漁夫122名。

大正4年肥料製造高(大正5年3月報告)

佐賀徳治分

鯨絞粕 2,200 貫 682円

佐賀清太郎分

鯨絞粕 30,481.350貫 9,449円21銭8厘

鯨笹目 159,400 37円85銭7厘

胴鯨 547,650 225円27銭5厘

白子 63,000 18円90銭

9月5日天塩水陸物産共進会を留萌町で開催。10日まで。

1916 大正5

2月鯨待網漁業許可願

留東定第5、6、7号鯨行成網、留東定第7、8、10、11、12、13号鯨角網、留東定第268号鯨角網(佐賀徳治)。

4月5日着業届

留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第2号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第8号鯨角網

明治35年7月1日免許

留萌郡留萌村沿海東第79号留東定第3号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網

明治35年7月1日免許

留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網

明治35年7月1日免許(佐賀徳治)

11月4日鯨待網漁業許可願

留東定第5号鯨角網、留東定第6号鯨角網、留東定

第7号鯨角網、留東定第8号鯨角網、留東定第9号

鯨角網、留東定第11号鯨角網、留東定第19号鯨角網、

留東定第13号鯨角網、留東定第3号鯨角網、留東定

第268号鯨角網。

11月4日許可書返納。

5年中肥料製造高 佐賀清太郎分30145,222貫

10,927円64銭2厘(大正6年3月19日提出)

佐賀徳治分 800 貫

290円

鯨絞め粕 6月20日 1,398,453石(肥料製造帳に記載あり)

寄留漁夫117名。

6月30日水産組合規則公布。  
11月6日北海道水産製品取締規則を改正。  
以後久遠、熊石に来遊途絶。

1917 大正6

4月1日着業届  
佐賀清太部分第11号、第13号(行成網)、第17号、第19号、第20号、第21号、第22号、第120号(行成網)、第121号(行成網)  
佐賀徳治分第42号角網  
8月8日定置漁業免許願(佐賀徳治分)  
11月17日提出6年中肥料製造高届  
練絞粕 2,089貫2斗 992円  
練絞め粕 5月23日 52.23石(肥料製造帳に記載あり)

漁夫139名

1917 大正7

4月3日着業届  
留萌郡礼受村沿海東第11号留東定第2号鯨角網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡礼受村沿海東第13号留東定第9号鯨行成網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡礼受村沿海東第17号留東定第10号鯨角網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡礼受村沿海東第19号留東定第11号鯨角網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡礼受村沿海東第20号留東定第12号鯨角網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡礼受村沿海東第21号留東定第13号鯨角網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡礼受村沿海東第22号留東定第8号鯨角網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡三泊村沿海東第120号留東定第6号鯨行成網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡三泊村沿海東第121号留東定第5号鯨行成網  
明治35年7月1日免許  
留萌郡礼受村沿海東第42号留東定第268号鯨角網  
明治35年7月1日免許(佐賀徳治)  
9月8日漁業権抹消登録申請  
留東定第13号鯨角網、留東定第8号鯨角網、留東定第7号鯨角網、留東定第9号鯨角網、留東定第11号鯨角網、留東定第10号、留東定第12号  
10月3日免許 東第30号留東定第385号 (大正6年8月8日付許可願の佐賀徳治分)  
10月3日免許 東第6号留東定第361号 留東定第366号 留東定第367号 留東定第369号 留東定第370号 佐賀清太郎(大正6年8月8日申請)  
練絞め粕 6月 539.2108石(肥料製造帳に記載あり)

寄留漁夫66名。

1919 大正8

12月23日免許 留東定第429号佐賀清太郎(大正8年10月15日申請)  
練絞め粕 5月 1,275.9621石(肥料製造帳に記載あり)

寄留漁夫79名。

1920 大正9

練絞め粕 5月 820.2石(肥料製造帳に記載あり)

以後瀬棚に来遊途絶。

- 寄留漁夫79名。  
全道鯉漁業免許数4,868ヶ統
- 1921 大正10 12月7日付大正10年中肥料製造高届  
鯉絞粕 28,344貫 17,006円  
漁夫元場52名、臼谷23名、計75名  
鯉絞め粕 5月 978.6石(肥料製造帳に記載あり)
- 1922 大正11 大正11年中肥料製造高(12年1月5日付)  
鯉絞粕 25,656貫 19,242円  
5月3日鯉絞粕145俵海難にあう。  
鯉絞め粕 4月 51.85石  
6月 656.993石  
計 708.843石(肥料製造帳に記載あり)  
漁夫元場73名、臼谷23名、計96名。  
5月帝国水産会設立。  
4月賃借権設定登録申請  
留鯉定第361号(4月18日免許漁業原簿登録)  
7月16日定置漁業調査報告  
免許番号 漁場番号 権利者 経営者 12年度漁獲高  
361 6 佐賀清太郎 佐賀祥二郎 40  
362 7 佐賀清太郎 佐賀清太郎 10  
366 11 佐賀清太郎 永井伊惣治 20  
367 12 佐賀清太郎 佐賀清太郎 休業  
368 13 佐賀清太郎 佐賀清太郎 28  
369 14 佐賀清太郎 佐賀清太郎 10  
370 15 佐賀清太郎 佐賀清太郎 15  
429 74 佐賀清太郎 佐賀清太郎 285  
5月14日 定置漁業権変更願 留鯉定第366号、留鯉定第367号、留鯉定第369号、留鯉定第370号、留鯉定第429号漁業期間の変更。12月22日許可。  
10月賃借権抹消登録申請  
留鯉定第361号  
鯉絞め粕 6月 340.186石(肥料製造帳に記載あり)
- 1923 大正12 全道鯉漁業免許数3,680ヶ統  
以後松前に来遊途絶。  
全道17,000石の大凶漁  
2月21日下風呂火災、全焼7棟12戸、半焼2棟2戸、焼死者2名。  
水産業補助規程改正。
- 1924 大正13 漁夫元場76名、臼谷24名、計100名。  
漁夫元場76名、臼谷25名、計101名。  
留明支庁管内鯉定置漁業権数529ヶ統  
鯉絞め粕 6月 659.4石(肥料製造帳に記載あり)
- 1925 大正14 収獲高(昭和5年3月6日届)  
留鯉定第361号 250石  
留鯉定第366号 200石  
留鯉定第367号 284石2斗  
留鯉定第766号 150石  
留鯉定第370号 200石  
鯉絞め粕 6月 1,702.81石(肥料製造帳に記載あり)  
11月北海道水産会、第四回総会において、鯉免許漁

1926 大正15

収獲高(昭和5年3月6日届)  
 留練定第361号 60石  
 留練定第366号 52石  
 留練定第367号 83石2斗  
 留練定第766号 43石  
 留練定第370号 55石  
 昭和元年中肥料製造高(昭和2年5月17日届)  
 練絞粕 435石 111,310円  
 練絞め粕 6月 435石(肥料製造帳に記載あり)

業合同経営奨励または助成に関する法案制定方建議。  
 道水試の山口技師「北海道鯨の大回遊説」を発表。

1927 昭和2

5月17日漁業権抛棄登録 留練定第362号 カネダイ行成網  
 3月16日 留練定第368号  
 留練定第369号  
 5月17日漁業権抹消登録 留練定第362号 カネダイ行成網  
 3月16日 留練定第368号  
 留練定第369号

北大藤田博士外は、北海道西海岸で生まれた鯨稚魚のうち太平洋に出たものは、日本海に戻ることなく死滅するという「死滅回遊説」発表。

3月16日定置漁業免許願 2ヶ統抛棄1ヶ統出願4月18日許可

収獲高(昭和5年3月6日届)  
 留練定第361号 125石  
 留練定第366号 92石  
 留練定第367号 150石  
 留練定第766号 50石  
 留練定第370号 83石  
 4月18日免許  
 留練定第458号角網 佐賀清太郎 (3月16日願出)  
 昭和元年中肥料製造高(昭和2年5月17日届)  
 練絞め粕 6月 643石(肥料製造帳に記載あり)  
 12月練定置漁業共同経営会議開催。(北海道庁主催)

1928 昭和3

10月11日賃借権抹消登録申請  
 留練定第361号  
 12月28日定置漁業免許願2件 臼谷地先 4年2月16日却下  
 3年中肥料製造高届  
 練絞粕 9,336貫(233.4石) 5,368円(4年2月24日届)  
 収獲高(昭和5年3月6日届)  
 留練定第361号 150石  
 留練定第366号 105石  
 留練定第367号 225石  
 留練定第766号 31石4斗  
 留練定第370号 120石

2月15日北海道漁業取締規則全面改正して公布。  
 11月日魯漁業会長堤清六の提唱により、北海道鯨漁業合同調査会創立。

1929 昭和4年

9月13日賃借権抹消登録申請  
 留練定第361号  
 4年中肥料製造高届(5年2月27日届)  
 練絞粕 432ノ(14.8石) 243円  
 収獲高(昭和5年3月6日届)  
 留練定第361号 80石







|                  |   |   |
|------------------|---|---|
| 1938 昭和13        | <p>6月30日、定置漁業権存続期間更新申請提出<br/>留鯨定第361、366、367、370号<br/>10月3日漁業権存続期間更新許可<br/>留鯨定第370号 佐賀清太郎(13年6月30日申請)<br/>留鯨定第367号 佐賀清太郎(13年6月30日申請)<br/>留鯨定第366号 佐賀清太郎(13年6月30日申請)<br/>留鯨定第361号 佐賀清太郎(13年6月30日申請)<br/>留鯨定第429号漁獲高0<br/>漁夫31名</p> | <p>漁夫30名<br/>9月11日、下風呂に山津波。倒壊家屋3、流失家屋15、消失家屋16、圧死者6、溺死者3、焼死者5。<br/>佐賀清太郎義捐金300円拠出。<br/>5月17日北海道漁業組合联合会設立認可。<br/>12月20日昭和13年度春鯨漁業労務者雇用協議会を札幌で開催。(標準賃金の決定)<br/>この年、全道漁獲量170,000石(12,800トン)</p>  |
| 1939 昭和14        | <p>9月16日12代佐賀平一郎生まれる。<br/>留鯨定第429号 統制による休業。<br/>12月23日漁業権存続期間更新許可<br/>留鯨定第429号 佐賀清太郎(昭和14年10月申請)<br/>漁夫31名。</p>   | <p>3月18日漁業法改正公布。<br/>5月26日春鯨未曾有の凶漁(5日現在1万3800石)道庁と業者70人对策協議会を開く。</p>  |
| 1940 昭和15        | <p>10月10日、昭和16年度鯨定置着業届留鯨定361、366、367、370、429号<br/>8月31日 家屋所有(異動)届提出。<br/>漁夫32名(帳場3名も含む)</p>   | <p>3月19日北海道鯨蓄殖保護規則公布。</p>   |
| 1941 昭和16        | <p>漁夫30名。<br/>11月10日留鯨定第370号賃貸契約 佐藤石太郎 収獲の1割5分賃貸料</p>   |   |
| 1942 昭和17        | <p>漁夫28名</p>  | <p>2月1日水産物配給統制要綱制定。<br/>3月4日北海道水産物配給統制規則公布。3月29日統制対象水産物を指定。<br/>3月7日鮮魚介配給統制要綱制定。<br/>4月28日水産加工関係団体機構整備に関する件を制定。<br/>5月22日北海道水産物需給調整協議会規程制定。<br/>6月12日鯨製品の移出承認に関する件公布。<br/>8月5日漁業生産奨励規則制定。</p> |
| 1943 昭和18        | <p>9月11日10代佐賀清太郎死去。享年80歳。<br/>漁夫25人。</p>  |   |
| 1944 昭和19        |   | <p>1月10日北海道水産業会設立(北海道漁業組合联合会を継承)鮮魚介の集出荷統制機関に指定。</p>   |
| 1940 昭和15<br>~ ~ |   | <p>補充群の添加により、漁況一時回復。</p>  |
| 1954 昭和29        |   |   |
| 1945 昭和20        |   | <p>11月4日日本漁民組合結成。<br/>11月20日政府、水産物に対する価格、配給の統制を全面的に撤廃。</p>  |
| 1946 昭和21        | <p>12月定置漁業権存続期間更新申請<br/>留鯨定第458号 佐賀清太郎</p>  |   |

1947 昭和22

4月18日漁業権存続期間更新許可  
留練定第458号 佐賀清太郎  
12月10日漁業権移転登録申請  
留練定第458号 佐賀伊四郎  
留練定第429号 佐賀伊四郎  
留練定第370号 佐賀伊四郎  
留練定第367号 佐賀伊四郎  
留練定第366号 佐賀伊四郎  
留練定第361号 佐賀伊四郎

1月18日占領軍、漁業民主化のための制度改革指針を公表。  
3月16日水産物統制令公布。  
6月22日占領軍第2次漁業操業許可海域を設定。漁区拡張される。  
7月北海道漁業制度改革委員会、漁業制度改革案を公表。  
合同漁業集中排除法の適用を受けて解散。

1948 昭和23

漁夫33名。

1月7日漁業法改正案(第1次)を公表。  
2月対日理事会漁業民主化のための制度改革要綱を勧告。  
4月16日鮮魚介配給規則公布。  
10月占領軍全国漁船の登録を指令。

1949 昭和24

漁夫30名。  
留萌地方練豊漁。(最後の練景気)

12月15日水産業協同組合法公布。

1950 昭和25

雇人58人  
練定置2ヶ統、佐賀伊四郎、佐賀清志名儀  
柔魚定置1ヶ統、佐賀清志名儀  
鱈底建網2ヶ統、佐賀伊四郎、佐賀清志名儀

6月30日占領軍、出漁違反取締りのため漁業監視制度を設定。  
9月19日占領軍第3次漁業操業許可海域を設定。漁区拡大される。  
10月15日北海道漁業組合連合会および、北海道信用漁業組合連合会発足。  
12月15日漁業法改正公布。(1950年3月14日施行)  
3月30日北海道、小手繰網漁業の整理ならびに無許可船の絶滅に関する要綱を公表。  
4月1日政府、水産物に対する配給、価格の統制を全面撤廃。  
5月2日漁港法公布。  
5月13日漁船法公布。

1951 昭和26

西海岸一体で練豊漁。4月中で留萌3万9,000石。

2月12日占領軍、日本漁業の危機解決策としての5ポイント計画発表。

1952 昭和27

漁夫62名。

5月4日(財)北海道漁業共済制度特別基金を設立。(1954年1月30日解散)  
12月17日水産資源保護法公布。  
12月17日中小漁業融資保証法公布。  
12月27日農林漁業金融公庫法(1953年4月1日公庫設立、開業)

1953 昭和28

3月31日中小漁業融資保証法に基づき北海道漁業信用基金協会設立。

|     |         |
|-----|---------|
| 曆年号 | で き こ と |
|-----|---------|

|           |   |                            |
|-----------|---|----------------------------|
| 1954 昭和29 | <p>漁夫70名。<br/>留萌沿岸来遊途絶。</p>   |                            |
| 1955 昭和30 | <p>漁夫73名。</p>   | ニシン漁凶漁につき、5月北海道、緊急凶漁対策を実施。 |
| 1956 昭和31 | <p>漁夫68名。<br/>漁夫59名。<br/>留萌地区定置申請者控えの中に<br/>留にしん定第9号 佐賀伊四郎<br/>留にしん定第10号 佐賀清志</p> |                            |
| 1957 昭和32 | <p>この年を最後に北海道春鯨の来遊全く途絶。<br/>1月6日11代佐賀伊四郎死去。享年69歳。</p>                             |                            |
| 1958 昭和33 | <p>佐賀漁場ニシン漁皆無。<br/>漁夫23名雇い。</p>   |                            |